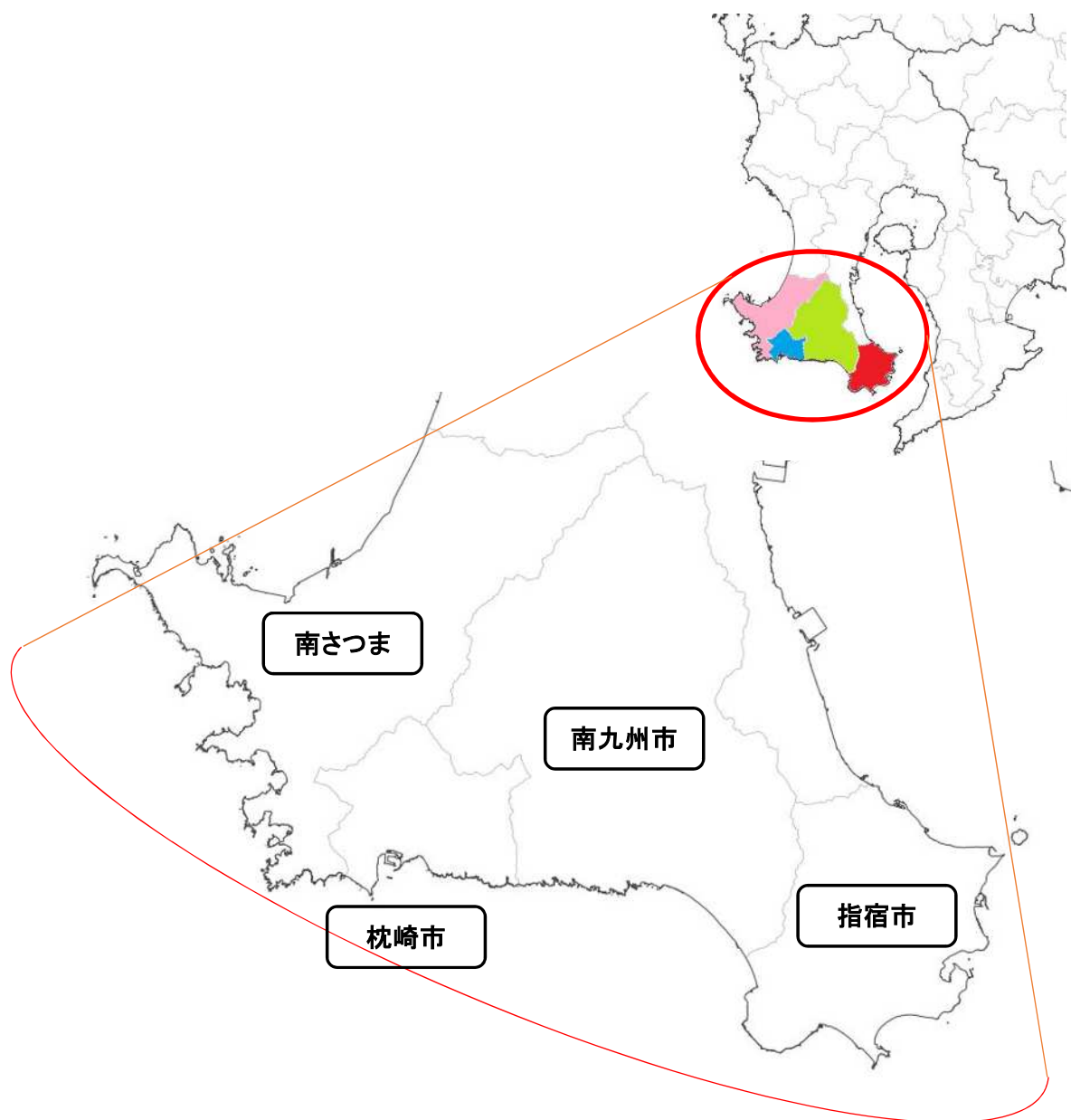


南薩地域データ集



2024年3月

鹿児島県南薩地域振興局

目 次

1	地勢	1
2	人口の動向	3
3	産業経済と所得	
(1)	産業別生産額	5
(2)	産業別就業者数	5
(3)	市町村民所得	6
(4)	管内高校の進学・就職状況	7
4	農林水産業	
(1)	農業	8
①	耕地の現況等	
②	農業生産の状況	
③	農業農村整備の状況	
④	就農者の現況等	
(2)	林業	15
①	林産物の生産現況等	
②	森林の現況等	
③	林業就業者の現況等	
④	森林土木関係	
(3)	水産業	18
①	水産物の生産現況等	
②	水産就業者の現況等	
③	市場別水揚げの状況	
④	水産物の輸出の状況	
5	観光	
(1)	観光客動向	21
①	管内入込客数の推移	
②	指宿市における延べ宿泊者数の推移	
(2)	教育旅行の受入状況	22
(3)	スポーツキャンプ・合宿の受入状況	23
(4)	主な観光スポット・イベント	25
6	保健医療福祉	
(1)	人口動態	26
(2)	医師数・医療提供施設等の状況	26
(3)	生活習慣病死亡率	26
(4)	福祉施設の設置状況	28
(5)	温泉利用状況	28
	【参考】県立薩南病院の概要	

7	管内の公共土木施設の概要	30
(1)	道路	30
(2)	河川	31
(3)	土石流, 急傾斜地及び地すべり	31
(4)	海岸	31
(5)	港湾・漁港	32
(6)	県営住宅	32
8	教育・文化	33
(1)	教育	33
①	小中学校の状況	
②	義務教育学校の状況	
③	高等学校の状況	
④	特別支援学校	
(2)	文化	33
①	伝統的工芸品	
②	管内の指定文化財の状況	
9	市町村勢	35
(1)	財政状況	35
(2)	合併状況	35

1 地勢

- ・ 当地域は、薩摩半島の南西部に位置し、北は日置市と鹿児島市に、東は錦江湾に、西と南は東シナ海に面している。南西端は、坊・野間の小山系と沈降地形によるリアス式海岸がみられ、背後に南西台地の段丘が広がっている。
- ・ 管内の面積は 86,510haで、県全体に対する構成比は 9.4%であり、耕地面積は 17,180ha(耕地率19.9%)、林野面積45,718ha(林野率52.8%)である(表1)。
南薩畑かん等により生産性の高まった地域がある一方で、シラス、コラ等の火山性不良土壌地域や中山間地域など生産性の低い耕地もある。
- ・ 管内各市とも、県都鹿児島市から50km圏内に位置し、JR指宿枕崎線やバス路線で結ばれている。2017年3月には南薩縦貫道が開通し、管外からのアクセスが格段に向上している(図2)。
- ・ 大隅半島とは、山川・根占フェリー(1日4往復8便 季節により変更あり)で、種子島・屋久島とは高速船(種子島:1日1往復2便, 屋久島:1日1往復3便 季節により変更あり)で結ばれている(表2)。

【表1】総面積・耕地面積・林野面積

区分 市名	総面積 (ha)	耕地面積(ha)			耕地率	林野面積(ha)			林野率
		田	畑	計		国有	民有	計	
枕崎市	7,478	62	1,400	1,470	19.7%	22	3,347	3,369	45.1%
指宿市	14,882	263	3,030	3,290	22.1%	638	5,310	5,948	40.0%
南さつま市	28,359	1,500	2,060	3,560	12.6%	715	17,408	18,123	63.9%
南九州市	35,791	1,390	7,470	8,860	24.8%	2,043	16,235	18,278	51.1%
管内	86,510 (9.4%)	3,215	13,960	17,180 (15.4%)	19.9%	3,418	42,300	45,718 (7.8%)	52.8%
県計	918,618	34,700	77,100	111,800	12.2%	148,617	436,222	584,839	63.7%

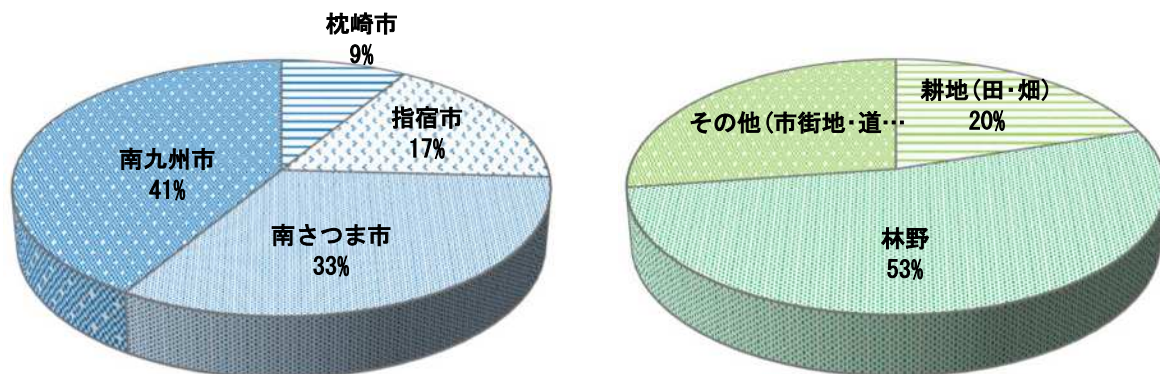
※1 ()は、県全体に対する構成比

※2 耕地面積は、ラウンドの関係で合計が一致しないことがある。

出典：総面積：国土地理院「令和5年度全国都道府県市町村別面積調(10月1日時点)」

耕地面積、林野面積：九州農政局「第69次九州農林水産統計年報(令和3年～4年)」

【図1】市別面積比(総面積:86,510ha) 管内の土地利用形態



【図2】南薩地域振興局 管内概要地図



【表2】南薩への移動時間

車（鹿児島市街－南薩各市街）	
枕崎市街	約1時間5分（南薩縦貫道など）
指宿市街	約1時間10分（国道226号など）
南さつま市街（加世田）	約1時間（国道225号，県道20号など）
南九州市街（知覧）	約45分（南薩縦貫道など）
J R（鹿児島中央駅－枕崎駅／指宿駅）	
枕崎駅	約2時間30分（指宿枕崎線）
指宿駅	約1時間15分（指宿枕崎線）
山川・根占フェリー	
山川港－根占港	約50分
種子島・屋久島高速船	
指宿－種子島	約1時間5分～約2時間20分
指宿－屋久島	約1時間15分～約2時間

○主な自然環境

山	指宿市	・開聞岳 924m ・魚見岳 215m
	南さつま市	・金峰山 636m ・野間岳 591m ・長屋山 513m
	南九州市	・大野岳 466m ・矢筈岳 359m
湖	指宿市	・池田湖 [九州最大の湖，カルデラ湖] 面積 10.91km ² ，直径 約3.5Km，周囲 約15Km，湖面標高 約66m， 深さ 233m（日本で4番目に深い）
河川	南九州市 南さつま市	・万之瀬川水系（23河川） 延長151km
島	指宿市	・知林ヶ島 面積 0.6km ² ，周囲 約3Km，標高 90m，砂州長（出現時）約800m ※地質学では，陸繋統（砂州によって大陸や大きな島と陸続きになった島）の一種
	南さつま市	・沖秋目島 ・宇治群島 ・草垣群島

2 人口の動向

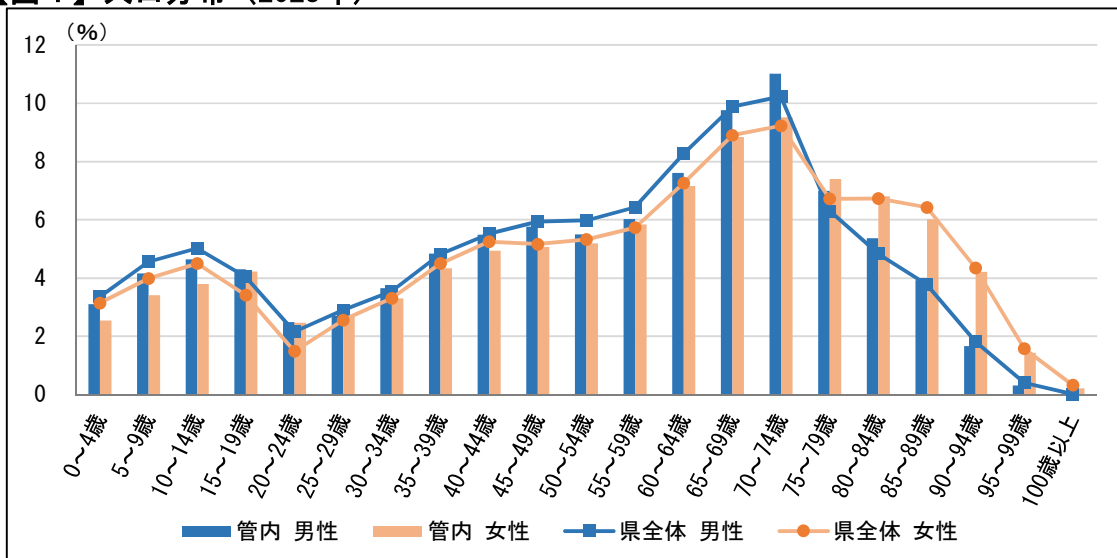
- ・ 2023年の南薩地域の推計人口は約12万人であり、約10年前の2010年と比べると約2.8万人減少し、管内人口のピーク時であった1950年(約27.4万人)の43.1%となっている(表1)。
- ・ 県全体に占める管内の人口の割合は、7.6%であり減少傾向にある(表1)。
- ・ 65歳以上の高齢化率は42.0%であり、県全体の34.0%を8.0ポイント上回っており、県下の地域別で最も高い(表1・2)。
- ・ 人口分布は、県全体と比較すると若い世代ほど総人口に占める割合が下回っており、とくに14歳以下の割合が低い(図1)。
- ・ 南薩地域の人口減少は今後更に進行し、2050年には約7.1万人になると推計されており、減少率は県下の地域別で最も高い(図2・表2)。
- ・ 高齢化率(総人口に占める65歳以上人口の割合)は、2050年には47.8%になると見込まれている(表2)。

【表1】人口の推移等

区分 市名	人口の推移(人)					世帯数 (戸) 2023年 県統計	高齢化率 (%) 2023年 県統計
	国勢調査				県統計		
	1950年 (ピーク時)	2010年	2015年	2020年	2023年		
枕崎市	34,480	23,638	22,046	20,033	18,842	9,207	43.2
指宿市	67,977	44,396	41,831	39,011	37,159	17,375	41.9
南さつま市	89,852	38,704	35,439	32,887	31,134	14,106	41.8
南九州市	82,021	39,065	36,352	33,080	30,973	14,100	42.4
管内計 A	274,330	145,803	135,668	125,011	118,108	54,788	42.0
県計 B	1,804,118	1,706,242	1,648,177	1,588,256	1,548,684	78,540	34.0
県対比 A/B	15.2%	8.5%	8.2%	7.9%	7.6%	69.8%	—

出典：人口の推移及び世帯数のうち県統計欄は、県統計課「県人口移動調査(推計人口)」

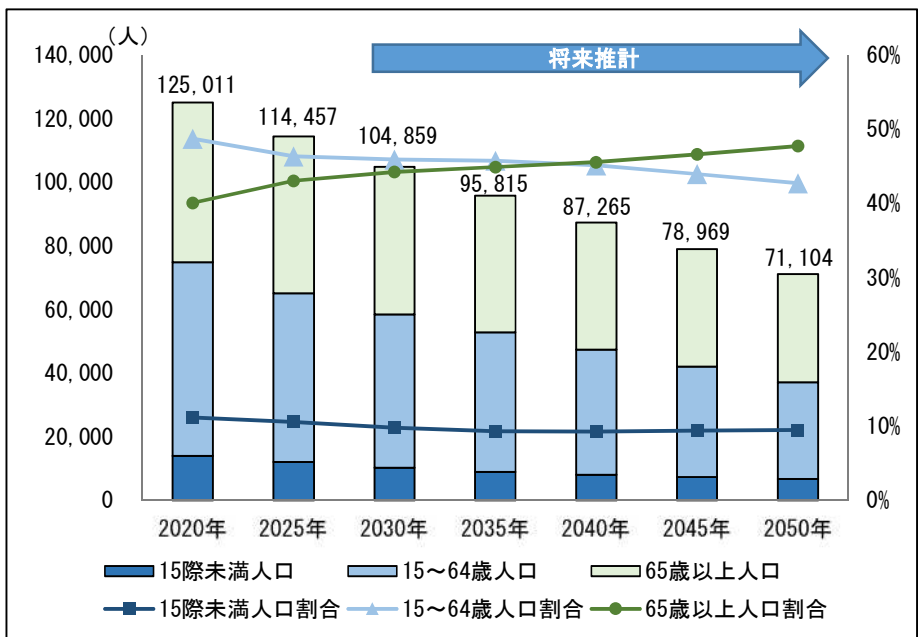
【図1】人口分布(2023年)



※ 総人口に占める各年齢区分人口の割合をグラフ化したもの

出典：県統計課「県人口移動調査(推計人口)」

【図2】年齢3区分別管内人口の推移



出典：2020年まで 総務省「国勢調査」
2025年以降 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（2023年推計）」

【表2】地域別将来推計人口・高齢化率 (単位：人，%)

	人口				高齢化率			
	2020年 国勢調査 (A)	2023年 県統計 (B)	2050年 推計 (C)	(C)/(B)	2020年 国勢調査 (D)	2023年 県統計 (E)	2050年 推計 (F)	(F) - (E)
鹿児島地域	668,916	660,552	547,827	82.9	29.2	29.0	39.1	10.1
南薩地域	125,011	118,108	71,104	60.2	40.1	42.0	47.8	5.8
北薩地域	193,615	187,009	129,979	69.5	34.8	35.7	43.2	7.5
姶良・伊佐地域	233,055	230,671	183,419	79.5	31.2	31.8	40.3	8.5
大隅地域	223,828	213,896	145,290	67.9	35.7	37.0	42.5	5.5
熊毛地域	39,550	37,619	24,450	65.0	37.5	39.3	46.8	7.5
大島地域	104,281	99,855	68,533	68.6	35.1	36.9	45.7	8.8
県計	1,588,256	1,548,684	1,170,602	75.6	32.5	34.0	41.2	7.2

出典：2020年 総務省「国勢調査」
2022年 県統計課「県人口移動調査(推計人口)」
2050年 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（2023年推計）」

3 産業経済と所得

(1) 産業別生産額

- 2020年度市町村内総生産額の管内計は、4,337億円（県全体の7.7%）である。産業別構成比で見ると、第1次産業が11.0%（県4.7%）、第2次産業が20.6%（県21.4%）、第3次産業が67.7%（県73.2%）であり、県全体と比べ第1次産業の割合が高く、第3次産業の割合が低い（表1）。

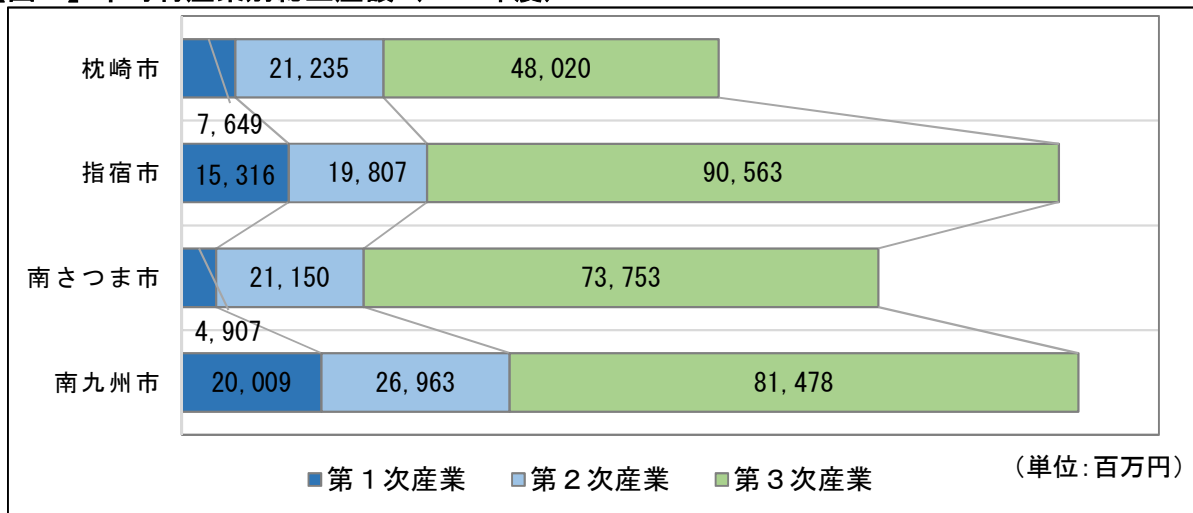
【表1】産業別総生産額（2020年度）

（単位：百万円）

区分 市名	総生産額		第1次産業		第2次産業		第3次産業	
	金額	前年比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
枕崎市	77,415	94.4%	7,649	9.9%	21,235	27.4%	48,020	62.0%
指宿市	126,521	95.5%	15,316	12.1%	19,807	15.7%	90,563	71.6%
南さつま市	100,473	99.0%	4,907	4.9%	21,150	21.1%	73,753	73.4%
南九州市	129,304	95.7%	20,009	15.5%	26,963	20.9%	81,478	63.0%
管内計 ①	433,713	96.1%	47,881	11.0%	89,155	20.6%	293,814	67.7%
県計 ②	5,610,271	96.8%	263,972	4.7%	1,201,593	21.4%	4,107,671	73.2%
管内割合 ① / ②	7.7%	—	18.1%	—	7.4%	—	7.2%	—

出典：県統計協会「市町村民所得推計（市町村内総生産）」

【図1】市町村産業別総生産額（2020年度）



(2) 産業別就業者数

- 管内の就業者数（15歳以上）は58,558人で、産業別構成比は第1次産業が17.3%（県8.3%）、第2次産業が18.6%（県18.8%）、第3次産業が63.3%（県71.1%）であり、県全体と比べ第1次産業の割合が高く、第3次産業の割合が低い（図2）。

【表2】産業別就業者数（2020年）

（単位：人，％）

	総数	第1次産業			第2次産業			第3次産業		
		総数	うち 農林業	うち 漁業	総数	うち 建設業	うち 製造業	総数	うち 卸売・小売	うち 医療・福祉
枕崎市	9,382 —	1,116 11.9	996 10.6	120 1.3	2,049 21.8	510 5.4	1,507 16.1	6,072 64.7	1,349 14.4	1,810 19.3
指宿市	18,640 —	3,934 21.1	3,770 20.2	164 0.9	2,496 13.4	1,210 6.5	1,279 6.9	12,192 65.4	2,467 13.2	3,428 18.4
南さつま市	14,216 —	1,488 10.5	1,299 9.1	189 1.3	2,988 21.0	1,203 8.5	1,774 12.5	9,732 68.5	1,872 13.2	3,254 22.9
南九州市	16,320 —	3,619 22.2	3,567 21.9	52 0.3	3,381 20.7	1,172 7.2	2,186 13.4	9,071 55.6	1,938 11.9	2,796 17.1
管内計	58,558 —	10,157 17.3	9,632 16.4	525 0.9	10,914 18.6	4,095 7.0	6,746 11.5	37,067 63.3	7,626 13.0	11,288 19.3
県計	738,343 —	61,464 8.3	56,882 7.7	4,582 0.6	138,793 18.8	60,268 8.2	77,992 10.6	525,048 71.1	111,847 15.1	135,814 18.4

※ 下段は、就業者の総数に占める割合

出典：総務省「2020年国勢調査」（就業状態等基本集計結果）

(3) 市民所得

- 管内の1人当たりの市町村民所得は2,191千円で、県平均の91%である（表3）。

【表3】市民所得（2020年）

市名	区分	市民所得		1人当たり市民所得		
		金額	前年比	金額	前年比	県内順位
枕崎市		44,770 百万円	89.6%	2,235 千円	91.8%	21 位
指宿市		85,011 百万円	90.9%	2,179 千円	92.2%	24 位
南さつま市		67,994 百万円	90.5%	2,068 千円	91.7%	35 位
南九州市		76,065 百万円	91.6%	2,299 千円	93.5%	16 位
管内計	①	273,840 百万円	90.8%	2,191 千円	92.4%	—
県計	②	3,824,743 百万円	91.9%	2,408 千円	92.7%	—
管内割合	① ②	7.2 %	—	91.0 %	—	—

出典：県統計協会「市町村民所得推計（市町村民所得）」

(4) 管内高校（11校）の進学・就職状況

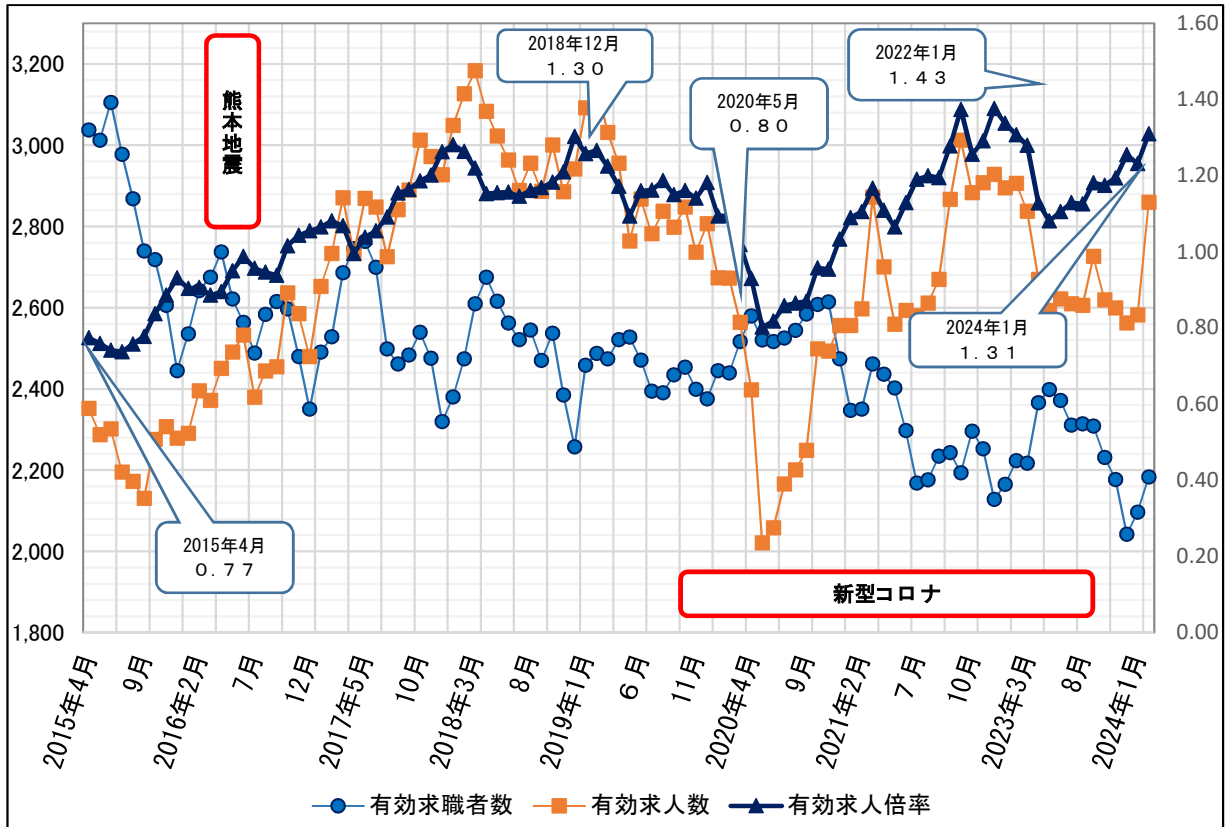
- ・ 南薩地域の高校を2023年3月に卒業した者の就職率は、本県の就職率よりやや高いが、県全体と同程度の割合で県外に就職するため、各分野で労働力不足が生じている（表4）。
- ・ 有効求人倍率は、2016年10月から2020年3月までは1倍を超えていたが、2020年4月から11月までは新型コロナウイルスの影響による有効求人数の減少で0.8~0.9倍台となり、2020年12月以降は再び1倍を超えて推移している。長期的に見ると有効求職者数が減少傾向になっていることが人手不足に影響しているものと考えられる（図2）。

【表4】管内高校（11校）の進学・就職状況（2023年）

区分 市名	卒業生	進学等	就職		進学等率	就職率
			県外	県内		
枕崎市	138人	54人	78人	40人	39.1%	56.5%
指宿市	260人	174人	84人	10人	66.9%	32.3%
南さつま市	496人	447人	38人	7人	90.1%	7.7%
南九州市	195人	88人	105人	57人	45.1%	53.8%
管内計	1,089人	763人	305人	107人	70.1%	28.0%
県計	13,328人	9,714人	3,165人	1,166人	72.9%	23.7%

出典：2023年度学校基本統計（卒業後の状況調査／2023年3月卒）

【図2】管内の求人・求職の動向（2015年4月～2024年1月）



4 農林水産業



野菜・果樹・花きの産地づく

日本一の茶産地づくり

未来につなぐみんなの森づくり(再造林)



枕崎, 指宿市山川は, 日本有数のかつお水揚げ港
日本一のかつお節産地



かつお節

かつおポニートチップス
令和3年度農林水産祭
天皇杯受賞

(1) 農業

① 耕地の現況等

ア 耕地の状況

耕地面積は17,180haで、県全体の15.4%を占め、県下有数の農業地帯となっている(表1)。

北部は、川辺、金峰を中心に万之瀬川流域に広がる水田地帯である。西部は、連担する山地が海岸付近まで迫り、耕地は大部分が傾斜地で散在しており、小区画の棚田、迫田、段畑が多い。また、水源に乏しいため、干害を受けやすく厳しい条件下にある。南東部は、南薩台地約6,000haの畑を対象に国営事業等により畑地かんがい整備され、1981年の通水開始以来、茶、露地野菜など生産性の高い農業が営まれている。

【表1】耕地面積等

市名	面積 (ha)	耕地面積(ha)	
		田	畑
枕崎市	7,478	62	1,400
指宿市	14,882	263	3,030
南さつま市	28,359	1,500	2,060
南九州市	35,791	1,390	7,470
管内計 ①	86,510	3,215	13,960
県計 ②	918,618	34,700	77,100
管内割合 ①/②	9.4%	15.4%	18.1%

出典：国土地理院「全国都道府県市町村別面積調」(2023年10月1日現在)
農林水産省「農林水産関係市町村統計(2022年)」

② 農業生産の状況

ア 農畜産物の生産現況

耕地の約8割は畑地であり(表1)、温暖な気候と畑地かんがい施設を活かし、茶、野菜、さつまいもや畜産等を中心とした営農が盛んで、農業産出額は、県の2割強を占めており、特に、茶は県全体の約5割を占める一大産地を形成している(表2)。

【表2】農畜産物の生産現況

		2010年	2015年	2020年	2022年
栽培面積	耕種部門				
	水稲 (ha)	1,683	1,670	1,559 (8.1)	1,522 (8.5)
	かんしょ (ha)	3,426	3,178	2,772 (25.4)	2,544 (25.4)
	葉たばこ (ha)	250	160	144 -	110 -
	果樹 (ha)	362	287	210 -	196 -
	野菜 (ha)	3,719	3,758	4,045 -	3,844 -
	茶 (ha)	4,207	4,170	4,110 (49.1)	4,092
	花き (ha)	360	286	180 -	189 -
	飼料作物 (ha)	1,655	1,679	1,723 (5.7)	2,227 (7.5)
飼養頭羽数	畜産部門				
	乳用牛 (頭)	2,690	2,730	2,130 (15.8)	2,110 (16.1)
	肉用牛 (頭)	61,100	51,600	50,900 (14.5)	52,600 (15.6)
	豚 (頭)	191,700	164,000	172,900 (14.0)	170,200 (14.2)
	鶏				
	ブロイラー (千羽)	1,526	1,824	1,387 (5.1)	1,589 (5.7)
	採卵鶏 (千羽)	—	2,479	2,565 (21.4)	2,467 (21.0)
農業産出額	枕崎市	10,390	10,461	10,461	7,343
	指宿市	25,570	25,985	25,985	32,032
	南さつま市	8,770	9,325	9,325	10,055
	南九州市	46,230	49,673	49,673	51,043
	合計(百万円)	90,960 (22.7)	95,444 (21.5)	95,444 (21.5)	100,473 (19.6)

※ () は県計に占める割合%

出典：水稲：2022年農林水産省統計データ

水稲以外：市報告(ただし、飼料作物は「飼料作物の作付草地等の利用状況調査」)

畜産部門：鹿児島県における家畜の飼養戸数・頭羽数調査(各年2月)

農業産出額：市報告(南薩地域振興局農政普及課調べ)

【主な品目】

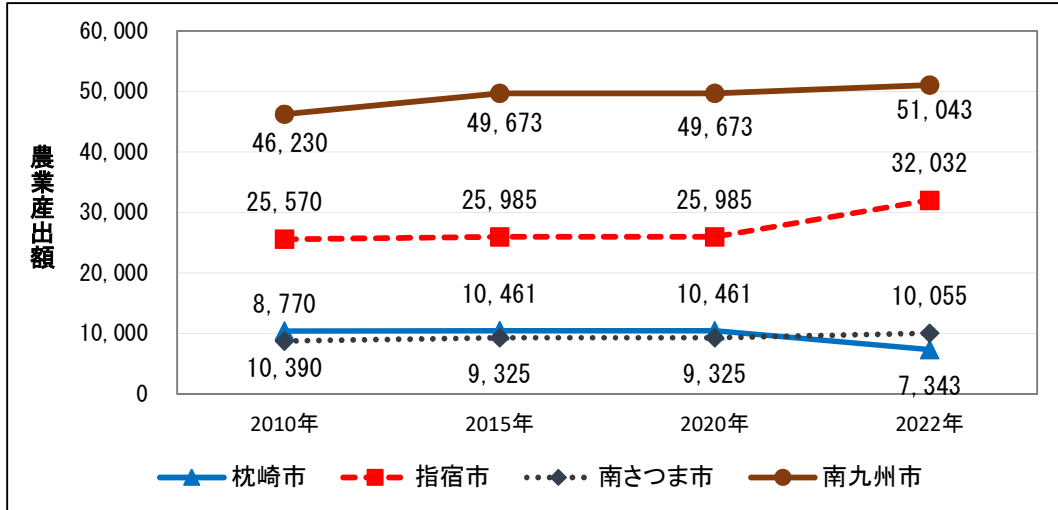
野菜 - オクラ, スナップえんどう, キャベツ, そらまめ, だいこん, かぼちゃ
 果樹 - きんかん, ぼんかん, たんかん, マンゴー
 花き・花木 - 観葉植物, 輪ギク, スプレー菊, グラジオラス, クルク

イ 農業産出額

2022年の管内の農業生産額は、100,473百万円となっており、南九州市が約5割を占め、次いで指宿市（32%）、南さつま市（10%）、枕崎市（7%）となっている（図1）。

【図1】市別農業産出額の推移

（単位：百万円）



出典：各市報告（南薩地域振興局農政普及課調べ）

ウ かごしまブランド団体の認定状況

県では、「かごしまブランド産品」として指定された品目で、一定の基準を満たして生産する団体等を「かごしまブランド団体」として認定している。

南薩地区では2023年1月現在、かごしまブランドの第1号として指定された加世田の「かぼちゃ」をはじめ、10品目で12団体が認定されている。

【表3】管内のかごしまブランド産品

ブランド産品	ブランド団体（関係市町村）
かごしまのかぼちゃ	J A 南さつま（南さつま市、南九州市、枕崎市）
かごしまのさつまいも	J A いぶすき（南九州市）、J A 南さつま（南九州市）
かごしまそらまめ	J A いぶすき（指宿市、南九州市、鹿児島市）
かごしま実えんどう	J A いぶすき（指宿市）
かごしまのらっきょう	J A 南さつま（南さつま市）
かごしまのきんかん	J A 南さつま（南さつま市、南九州市、枕崎市）
かごしまのたんかん	J A 南さつま（南さつま市、南九州市、枕崎市）
かごしまのマンゴー	J A さつま日置（南さつま市）、J A いぶすき（指宿市）
かごしまの米	J A さつま日置金峰地区水稲部会特別栽培米専門部会（南さつま市）
かごしまのオクラ	J A いぶすきオクラ部会エコオクラグループ（指宿市）

エ 農業生産工程管理（GAP※）の導入推進

本県産農林水産物の安心・安全を確保するために、全国に先駆けて導入したK-GAP（かごしまの農林水産物認証制度）において、南薩地区では2023年12月時点で、37団体等が22品目で39件の認証を取得している。

また、海外への輸出を見据えているお茶等の生産者・団体においては、K-GAPにとどまらず、ASIAGAPやGLOBALG. A. P. などの国際水準GAPの認証を取得するところも増えている。

※ GAP：Good Agricultural Practice（直訳では適正な農業のやり方）の略で、農産物等の安全を考えた農業生産工程の点検項目に沿って記録、点検、評価とその改善を繰り返す手法

オ IPM (Integrated Pest Management) の取組状況

南薩地区では、露地で生産するオクラにおいて、テントウムシなどの天敵を活用したIPM技術でアブラムシなど害虫を抑制し、化学合成農薬の使用を低減する防除体系を確立し、いぶすき農協オクラ部会の農家を中心に普及拡大を図っている。

また、豆類やピーマン、マンゴーなどの園芸作物やお茶などでも、IPM技術への取組が進んでいる。

カ お茶の輸出に向けた取組

南薩地区では、2014年5月、茶工場の会員からなる「南薩地区輸出茶研究会」を設立し、有機栽培茶の面積拡大による輸出茶生産の取組を進めている。(表4)。

また、海外で需要の高まっている有機栽培茶や抹茶の原料となるてん茶の生産拡大に向けて、生産体制の整備を推進しており、新たに取組を開始する農家が増加している(表5)。

【表4】南薩地区輸出研究会及びJAS有機認証茶園面積

	研究会工場数	JAS有機認証茶園面積 (ha)
2021年	67	147
2022年	65	148
2023年	65	150

出典：各市及び県経営技術課調べ

【表5】南薩地域におけるてん茶の生産状況

	生産実績 (t)	年度	生産実績 (t)
2016年	151	2020年	336
2017年	191	2021年	378
2018年	240	2022年	495
2019年	370	2023年	473

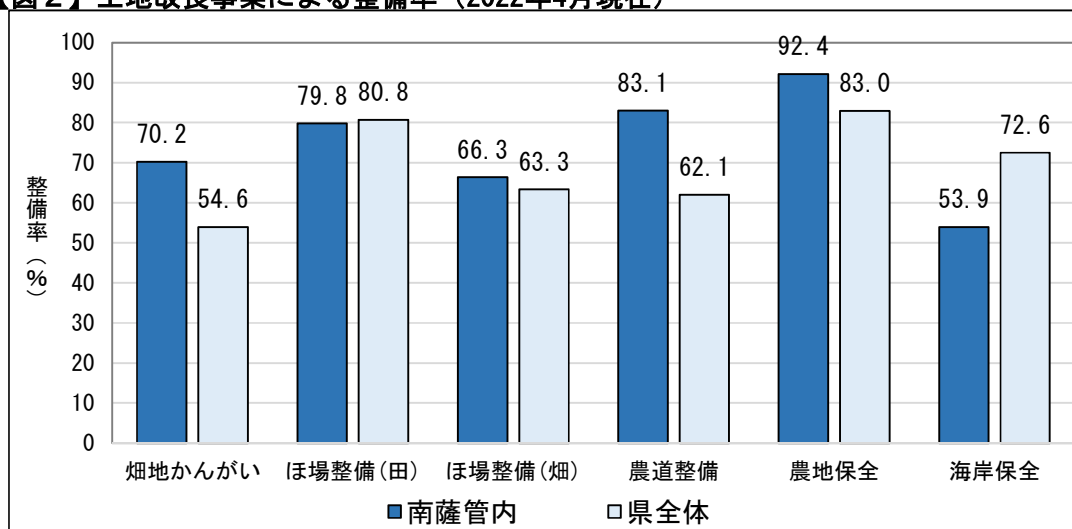
出典：各市調べ

③ 農業農村整備の状況

ア 管内の整備概況

- ・ 指宿市、南九州市南部及び枕崎市東部の大規模畑地帯において、ほ場整備、畑地かんがい、農地保全など総合的に整備されている(図2・表6)。
- ・ 南さつま市金峰町から大浦町にかけては、ほ場整備、干拓事業などにより大規模な水田地帯が整備されている。
- ・ 南薩地区、川辺地区広域農道を始め、管内全体で農道整備が進んでいる(表7)。
- ・ その他管内の数あるシラス台地では、農地保全事業により排水路が整備されている。

【図2】土地改良事業による整備率（2022年4月現在）



	畑地かんがい	ほ場整備(田)	ほ場整備(畑)	農道整備	農地保全	海岸保全
整備目標	9,570 ha	3,310 ha	12,890 ha	2,110 km	16,270 ha	13.2 km
実施済	6,721 ha	2,642 ha	8,551 ha	1,754 km	15,038 ha	7.1 km

【表6】大規模畑かんの整備状況

地区名	市町村	事業期間	事業量
南薩	指宿市, 枕崎市 南九州市穎娃町・知覧町	国営 1970年～1984年	畑地かんがい 5,935 ha
		県営 1972年～1994年	区画整理 4,806 ha
金峰	南さつま市金峰町	かん排 1987年～2005年	畑地かんがい 373 ha
		畑総 2005年～2016年	

【表7】広域農道の整備状況

地区名	市町村	事業期間	事業量
南薩	南九州市穎娃町・知覧町 枕崎市, 南さつま市	1972年～1993年	道路延長 26.5 km
南薩東部	指宿市, 南九州市穎娃町	1994年～2017年	道路延長 23.8 km (農水省区間 12.9 km) (国交省区間 10.9 km)
川辺	南さつま市加世田・大浦町 笠沙町, 南九州市川辺町	1991年～2013年	道路延長 32.2 km (農水省区間 21.3 km) (国交省区間 10.9 km)
日置南部	南さつま市金峰町	1998年～2009年	道路延長 5.2 km (金峰区間のみ)

【図3】農業基盤整備状況図



【参考】南薩畑かん事業の概要

1 事業概要

- (1) 国営事業
 - ・ 施工期間 1970～1984年度
 - ・ 総事業費 18,291百万円
 - ・ 事業内容 基幹水利施設(取水施設, 導水路, 送水路, 揚水施設, 水管理施設)
- (2) 県営事業
 - ・ 施工期間 1972～1994年度
 - ・ 総事業費 52,572百万円
 - ・ 事業内容 区画整理, 農道, 農地保全, 畑地かんがい (5,935ha)
- (3) 県営事業 ※更新事業実施中
 - ・ 施工期間 2013～2024年度
 - ・ 総事業費 7,605百万円 (2023年4月1日現在)
 - ・ 事業内容 給水栓補修工3万箇所, 埋設管移設工34km他

2 事業背景

- ・ 広大な畑作地帯を有しながらも、火山灰層（シラス、コラ）のため土壌の保水・吸水性に乏しく、空梅雨時には干害が発生するなど農耕には適さず、栽培できる作物もかんしょ、麦、なたねなどに限られていた。

3 事業目的

- ・ 池田湖を水源とした畑地かんがいと区画整理によって、生産性や品質の向上、選択性の拡大により、農業生産額の増加と農家の経営の安定、所得の向上を図る。

4 事業成果

- ・ 新規作物の導入が可能となり、野菜や茶を中心とした畑地かんがい営農が定着し、国内屈指の一大畑作地帯へ発展（そらまめの生産は日本一、茶は一大産地）
- ・ 農業用水の確保や区画整理を契機に規模拡大が進み、農家1戸当たりの生産農業所得が増加（県平均より高い水準）

5 主要作物

- 従前：かんしょ、麦、なたね など
- 整備後：規模拡大 — 茶、だいこん、実えんどう
- 新規導入 — オクラ、そらまめ、かぼちゃ、キャベツ、にんじん

④ 就農者の現況等

ア 農家の状況

- ・ 2020年農林業センサスによると、南薩地域の総農家戸数は5,671戸と5年前に比べ1,830戸減となっている（表8・図4）。

【表8】農家戸数等の推移

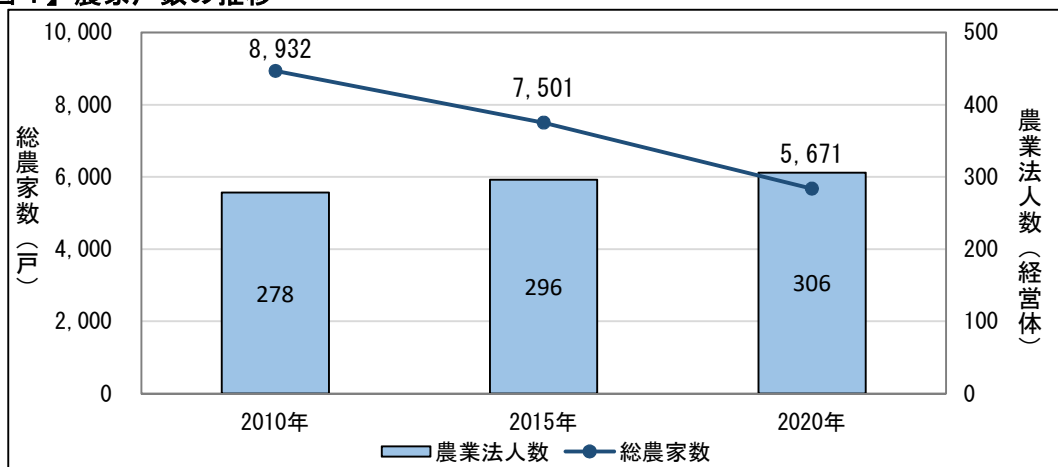
項目	総農家戸数						農業法人数 (経営体)
		販売農家			自給的農家		
		主業農家	準主業農家	副業的農家			
2010年	8,932	5,310	2,222	749	2,339	3,622	278
2015年 A	7,501	4,574	2,049	564	1,961	2,927	296
2020年 B	5,671	3,480	1,616	222	1,617	2,191	306
対比 B/A	75.6 %	76.1 %	78.9 %	39.4 %	82.5 %	74.9 %	103.4 %
県占有率	11.7 %	12.3 %	18.4 %	7.5 %	9.8 %	10.9 %	22.9 %

※1 2020年の主業・準主業・副業的農家数は個別経営体の内数であるため、販売農家数とは合致しない。

※2 2010年及び2015年の農業法人数は、農事組合法人及び会社組織の計

出典：農林水産省「農林業センサス（ただし2010年は世界農林業センサス）」

【図4】農家戸数の推移



イ 農業就業人口

- ・ 年齢別農業就業人口は、（調査対象が異なり一概に比較できないが）5年前と比較して、15～29歳の割合が減少し、65歳以上の割合が増加している（表9）。

【表9】農業就業人口の推移

	年齢別農業就業人口（人）				
	15歳～29歳	30歳～49歳	50歳～64歳	65歳～	計
2010年	456 (4.5%)	1,449 (14.4%)	2,880 (28.7%)	5,244 (52.3%)	10,029
2015年	259 (3.1%)	1,228 (14.9%)	2,595 (31.5%)	4,162 (50.5%)	8,244
2020年	65 (1.2%)	862 (15.3%)	1,688 (29.9%)	3,031 (53.7%)	5,646

※1 下段の（ ）は構成比

※2 2020年は基幹的農業従事者数(個別経営体)の年齢別内訳を記載(センサスの調査対象が変更されたため)

出典：農林水産省「農林業センサス（ただし2010年は世界農林業センサス）」

ウ 農業担い手等の状況

- 2021年度の認定農業者数は1,336経営体で、県全体の約18%を占め、2009年度の1,713戸をピークに減少傾向となっている。これは高齢化などで経営規模縮小農家が再認定を受けないことなどが原因で、県全体も同様となっている。一方、法人経営体は、278経営体となっている（表10）。

【表10】認定農業者の推移

（単位：経営体数，%）

	2018年		2019年		2020年		2021年	
	うち法人		うち法人		うち法人		うち法人	
枕崎市	143	36	137	35	134	37	119	32
指宿市	383	54	366	53	351	50	347	51
南さつま市	171	30	159	29	159	28	151	26
南九州市	755	163	749	164	728	165	719	169
管内計 A	1,452	283	1,411	281	1,372	280	1,336	278
県計 B	8,075	1,192	7,914	1,226	7,846	1,226	7,644	1,265
県対比A/B	18.0	23.7	17.8	22.9	17.5	22.8	17.5	22.0

出典：県経営技術課調べ

エ 新規就農者の状況

- 新規就農者数は、2012年度から農業次世代人材投資事業（旧青年就農給付金）が始まり、50人前後で推移していたが、各産業で雇用者が不足していることもあり、2017年度から減少傾向にあったものの、2022年度は前年度に比べて13名増の45人だった（表11）。

【表11】新規就農者の推移

（単位：人，%）

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
枕崎市	3	2	1	7	2	2
指宿市	13	15	11	13	23	18
南さつま市	1	4	4	6	0	7
南九州市	15	10	10	6	7	18
管内計 A	32	31	26	32	32	45
県計 B	273	257	275	229	218	229
県対比A/B	11.7	12.1	9.5	14.0	14.7	19.7

出典：県経営技術課調べ

(2) 林業

① 林産物の生産現況等

- 素材生産は、製材、土木資材、チップ用が主で、近年横ばいで推移している。
- 全国有数のかつお節生産地である当管内では、かつお節製造用に使用されるまきの生産が多く、県内の73.4%を占めている（表12）。
- 地域固有の資源であるつげ材は県内では唯一の生産地で、その加工品は伝統工芸（印章、櫛）となっている。
- 1990年度以降減少傾向にあった林業生産額は、近年、木材などの生産額が増加傾向である（表13）。

【表12】 林産物の生産量の推移

林産物名	単位	2005年	2010年	2015年	2022年
素材生産(針葉樹)	千m ²	20.4	24.8	40.2	50.1 (3.8%)
まき	RM	7,574.0	6,908.0	11,024.0	5,826.0 (73.4%)
緑化樹	千本	33.3	15.8	4.0	データなし -
生しいたけ	t	57.1	145.8	140.7	56.6 (8.1%)
ひらたけ	t	70.0	80.0	50.0	0.0 -
つげ材	t	15.0	17.1	35.4	110.0 (100.0%)

出典：「2023年度鹿児島県森林・林業統計」

※1 () は、県計に占める割合

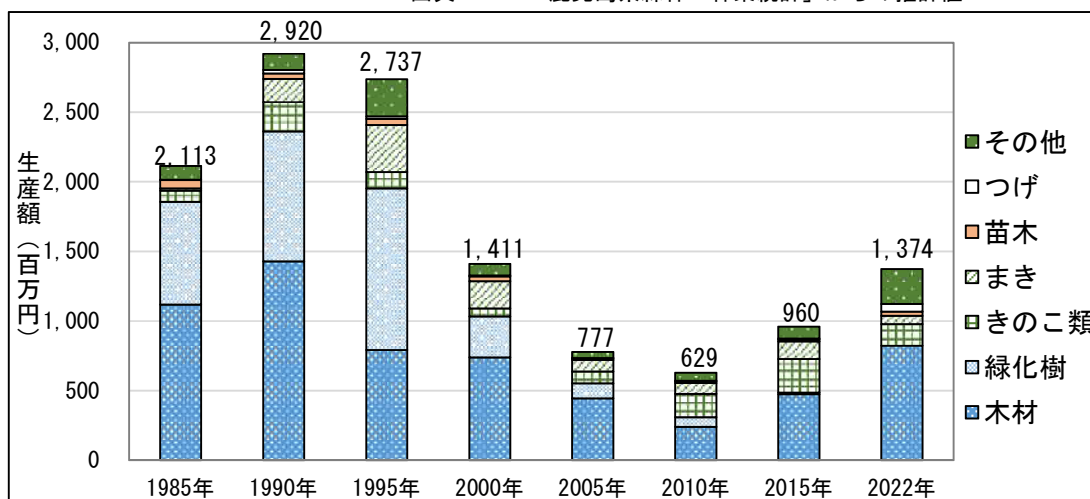
※2 「まき」の単位RM(ラウムメートル)は、層積立方メートル(まきをコンテナに積載した際に生じるすきま(空間)を含む体積のこと)。

【表13】 林業生産額の推移

(単位：百万円)

	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2022年
木材	1,118	1,429	792	740	445	240	473	824
緑化樹	738	935	1,160	292	108	69	13	データなし
きのこ類	81	208	119	60	84	169	240	155
まき	16	166	337	194	83	77	127	58
苗木	60	41	44	35	11	12	13	30
つげ	3	26	17	7	5	4	9	55
その他	97	115	268	83	41	58	85	252
計	2,113	2,920	2,737	1,411	777	629	960	1,374

出典：「2023鹿児島県森林・林業統計」からの推計値



② 森林の現況等

- 森林面積は46,316haで、総土地面積の54%と県全体の65%に比べて低い(表14)。
民有林は42,807haで、民有林率92%と県全体の民有林率74%と比べ高い(表14)。
民有林の所有形態別面積は、私有林が40,098ha(93.7%)と大部分を占めており、次いで、市有林が2,537ha(5.9%)、県有林172ha(0.4%)である(表14)。
- 民有林の針広別面積は、スギ、ヒノキ主体の針葉樹が23,275ha(54%)、シイ、カシ主体の広葉樹が18,346ha(43%)である(表15)。
民有林の樹種別面積は、スギ16,103ha(38%)とヒノキ6,321ha(15%)とで過半を占めている。マツは842ha(2%)と占める割合は小さいものの、主に海岸沿線に分布しており、防風・防潮機能の上で重要な役割を果たしている(表15)。

【表14】 森林面積

(単位：ha)

	総土地面積	森林面積	国有林	民有林			森林率	国有林率	民有林率	
	A	B	C	D	県有林	市有林	私有林	B/A	C/B	D/B
枕崎市	7,478	3,381	33	3,347	8	230	3,109	45%	1%	99%
指宿市	14,881	5,999	689	5,310	22	232	5,056	40%	11%	89%
南さつま市	28,359	18,155	745	17,410	66	979	16,364	64%	4%	96%
南九州市	35,791	18,781	2,042	16,739	76	1,095	15,568	52%	11%	89%
管内計	86,509	46,316	3,508	42,807	172	2,537	40,098	54%	8%	92%
県計	918,632	594,184	154,294	439,890	8,032	59,348	372,511	65%	26%	74%

※ 四捨五入の関係で計が一致しないことがある。

出典：「2023年度鹿児島県森林・林業統計」

【表15】 樹種別面積

(単位：ha)

	針葉樹					広葉樹	特殊樹林	竹林	その他	計
	スギ	ヒノキ	マツ	その他	計					
管内計	16,103	6,321	842	10	23,275	18,346	0	566	619	42,807
割合	38%	15%	2%	0%	54%	43%	0%	1%	1%	
県計	115,989	61,434	9,049	184	186,657	217,768	631	20,151	14,683	439,890
割合	26%	14%	2%	0%	42%	50%	0%	5%	3%	

※ 四捨五入の関係で計が一致しないことがある。

出典：「2023年度鹿児島県森林・林業統計」

③ 林業就業者の現況等

- ・ 管内の林業就業者は、2022年度は150人で、2015年度に比べ22人減少した。
- ・ 事業体数は、20事業体となっている。
- ・ 新規就業者数は12人となっている。

【表16】 林業就業者の状況

	就業者数	事業体数
2005年	147人 (8.3%)	36 (11.8%)
2010年	279人 (16.5%)	33 (13.5%)
2015年	172人 (11.2%)	20 (8.7%)
2022年	150人 (10.7%)	20 (8.3%)

※ ()は県全体に占める割合

	新規就業者数
2016年	12人 (152人)
2017年	19人 (174人)
2022年	12人 (145人)

※ ()は県計の数値

出典：県森林経営課調べ

出典：県森林経営課調べ

④ 森林土木関係

ア 治山事業

管内東部は崩壊しやすいシラスが広く分布している一方、西部は急峻な地形を呈し、地すべり性崩壊を起こしやすい地質である。また、南・西部は長い海岸線を有しているのが特徴である。このため、台風や集中豪雨による多大な影響を受けやすく、林地崩壊や潮・風害が発生し、人家、河川、農耕地、公共施設等が被害を受けている。

このような状況を踏まえ、崩壊地の復旧、危険地の崩壊防止、既設治山施設の災害復旧等を実施するとともに、施設の老朽化に対する計画的な長寿命化を推進し、山地災害の防止や保安林機能の維持・増進に努めている。

イ 林道事業

林業生産基盤の確立と山村地域の振興を図るため、林道網の整備を進めている。林道等密度は、県の平均6.9m/haは上回っているものの、当管内の目標値12.8m/haに対して、2023年度末で7.4m/haとなっている。

【表17】林道の状況

	整備状況			整備目標
	森林面積 (ha) A	開設延長 (m) B	林道等密度 (m/ha) B/A	林道等密度 (m/ha)
枕崎市	3,357	11,536	3.4	—
指宿市	5,106	33,540	6.6	—
南さつま市	15,949	152,199	9.5	—
南九州市	16,902	106,673	6.3	—
管内計	41,315	303,947	7.4	12.8
県計	435,433	3,009,312	6.9	11.6

出典：「2023年度鹿児島県森林・林業統計」

※1 森林面積は、2016年4月1日現在の森林面積(※4の計画基準面積)

※2 開設延長は、林道、林業専用道のほか、林業専用道(規格相当)を含む

※3 林道等密度は、小数第2位を四捨五入

※4 整備目標は、2016年度に策定した民有林林道等整備計画での2075年度末目標値

※5 四捨五入の関係で計が一致しないことがある。

(3) 水産業

① 水産物の生産現況等

ア 生産状況

- 2018年の管内海面漁業生産量は12,264トンで、県全体の19.3%を占めている(表18)。

漁業部門別では、遠洋漁業は、枕崎市で遠洋かつお一本釣漁業が営まれている。沖合漁業は、枕崎市の中型まき網漁業2統、指宿市の瀬物一本釣り2隻が操業している。

沿岸漁業は、吹上浜南部海域でのバッチ網、吾智網、刺網、一本釣等や、南薩海域での定置網、一本釣、曳縄、刺網等が営まれている。また、鹿児島湾口部では一本釣り、たこつぼ、定置網や刺網等の漁業が営まれている。

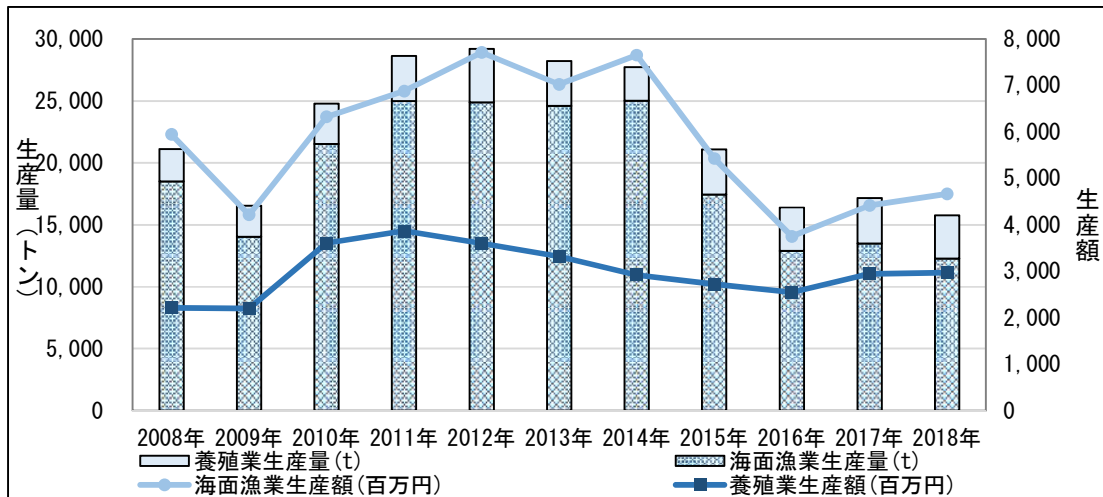
- 2018年の管内海面養殖業生産量は3,485トンで、県全体の6.5%を占めており、ここ10年ではピークの2012年に比べ844トン減少している(表18)。南さつま市及び指宿市でカンパチやブリが、南さつま市ではクロマグロ養殖が営まれているほか、陸上では南九州市及び南さつま市でクルマエビが、指宿市でウナギが養殖されている。

【表18】南薩地区水産物生産の推移

	海面漁業		養殖業		合計		南薩/県 (生産額)
	生産量(t)	生産額(百万円)	生産量(t)	生産額(百万円)	生産量(t)	生産額(百万円)	
2008年	18,514	5,942	2,609	2,210	21,123	8,152	10.4%
2009年	14,031	4,218	2,524	2,199	16,555	6,417	10.0%
2010年	21,541	6,324	3,260	3,606	24,801	9,930	9.0%
2011年	24,985	6,883	3,648	3,871	28,633	10,754	12.4%
2012年	24,887	7,714	4,329	3,600	29,216	11,314	13.3%
2013年	24,597	7,025	3,648	3,320	28,245	10,345	15.1%
2014年	25,014	7,656	2,725	2,919	27,739	10,575	13.5%
2015年	17,458	5,429	3,629	2,720	21,087	8,149	13.2%
2016年	12,896	3,753	3,499	2,547	16,395	6,300	10.2%
2017年	13,512	4,421	3,649	2,945	17,161	7,366	10.2%
2018年	12,264	4,669	3,485	2,972	15,749	7,641	10.0%

出典：農林水産省「農林水産統計」

ただし、2015年～2018年の養殖業の生産量及び生産額は県水産振興課「海面養殖実態調査」、各年の海面漁業の生産額は南薩地域振興局林務水産課の推計値



イ 漁船の状況

- 2022年の管内の海水動力漁船数は738隻で、県全体（8,001隻）の9.2%となっている（表19）。

【表19】動力漁船数の推移

（単位：隻）

階層別	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
5ト未満	867	847	835	794	774	745	722	690	668	641	624	606
5ト以上20ト未満	149	147	144	137	133	134	137	132	135	129	130	126
20ト以上	9	8	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6
管内合計	1,025 (9.5%)	1,002 (9.4%)	986 (9.4%)	938 (9.3%)	913 (9.3%)	885 (9.3%)	865 (9.4%)	828 (9.1%)	809 (9.5%)	776 (9.3%)	760 (9.3%)	738 (9.2%)
県計	10,785	10,631	10,473	10,112	9,780	9,509	9,243	9,058	8,529	8,324	8,155	8,001

※（ ）は県計に占める割合

出典：県水産振興課「漁船統計表（海水動力漁船）」

② 水産業就業者の現況等

- 管内就業者は、2018年は2013年に比べて155人減少した。また、経営体数も73経営体減少した（表20）。
- 2022年における管内の新規就業者数は7名となっている。

【表20】水産業就業者の状況

	就業者数	経営体数
2003年	1,167人 (13.3%)	565 (11.4%)
2008年	894人 (10.5%)	462 (10.5%)
2013年	734人 (10.2%)	388 (10.2%)
2018年	579人 (9.5%)	315 (10.1%)

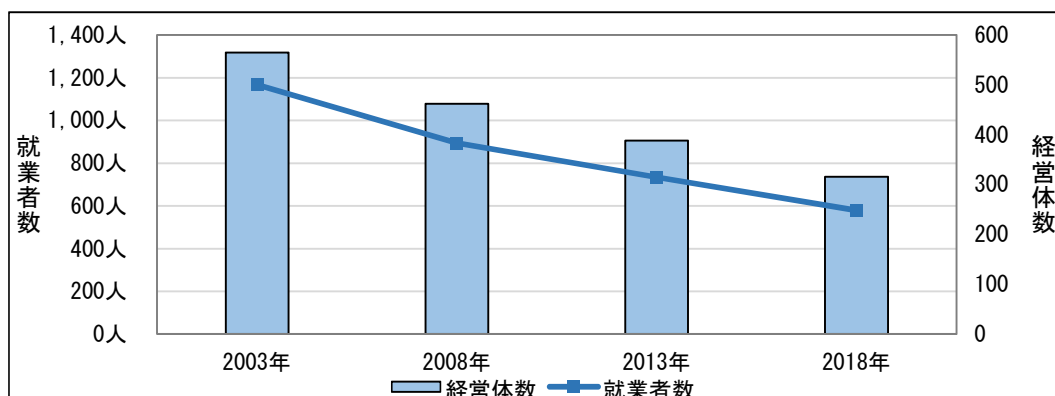
※（ ）は県全体に占める割合

出典：農林水産省「漁業センサス」

	新規就業者数
2019年	14人 (86人)
2020年	12人 (91人)
2021年	2人 (65人)
2022年	7人 (89人)

※（ ）は県計の数値

出典：県水産技術開発センター調べ



③ 市場別水揚げの状況

ア 取扱数量

- ・ 枕崎市漁協地方卸売市場 70,937 t (構成比41%, 県1位)
- ・ 山川町漁協地方卸売市場 49,369 t (構成比29%, 県2位)

イ 取扱金額

- ・ 枕崎市漁協地方卸売市場 17,077百万円 (構成比26%, 県1位)
- ・ 山川町漁協地方卸売市場 13,679百万円 (構成比21%, 県3位)

ウ 取扱魚種

- ・ 枕崎市漁協地方卸売市場 かつお, さば, まぐろ類
- ・ 山川町漁協地方卸売市場 かつお, まぐろ類, 瀬物類

出典：県水産振興課「2022年版鹿児島県水産物卸売市場統計年報（2022年1～12月の数値）」

④ 水産物の輸出の状況

- ・ 管内では枕崎漁港及び山川漁港にかつお節の原材料等となる冷凍カツオ等が海外まき網漁船により水揚げされているが、その一部がタイ、ベトナムなどに缶詰の加工原料として輸出されている。
- ・ 枕崎市漁協等が製造している冷凍カツオのたたき等が商社等を通じてアメリカ等に輸出されている。

【図25】長崎税関鹿児島税関支署枕崎出張所管内（枕崎市，指宿市，南九州市）における輸出実績

(単位：t, 百万円)

品目名		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
冷凍カツオ	輸出量	1,460	3,190	1,386	882	1,101
	輸出金額	342	530	226	143	211
冷凍マグロ類	輸出量	1,621	1,164	1,506	439	150
	輸出金額	311	226	298	81	25
その他	輸出量		404	79	38	
	輸出金額		60	9	4	
合計	輸出量	3,081	4,758	2,972	1,359	1,251
	輸出金額	653	816	533	228	236

※ 輸出入申告等の際に貨物が置かれた場所（保税地域等）の所在地を管轄する税関官署をもとに集計
出典：財務省「貿易統計」

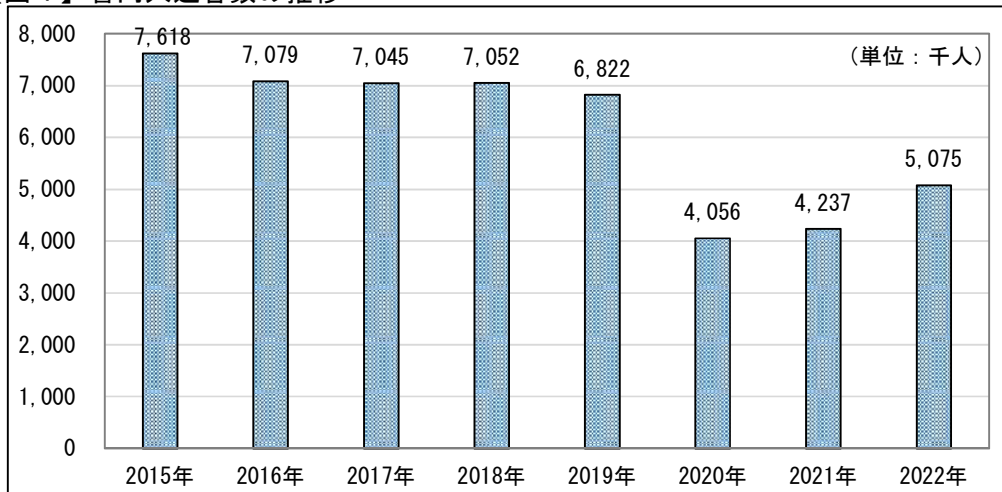
5 観光

(1) 観光客動向

① 管内入込客数

- 2022年の管内の入込客数は、前年比約20%増の5,075千人となったものの、新型コロナウイルス感染症拡大前の2019年に比べると7割程度となっている（図1）。

【図1】管内入込客数の推移

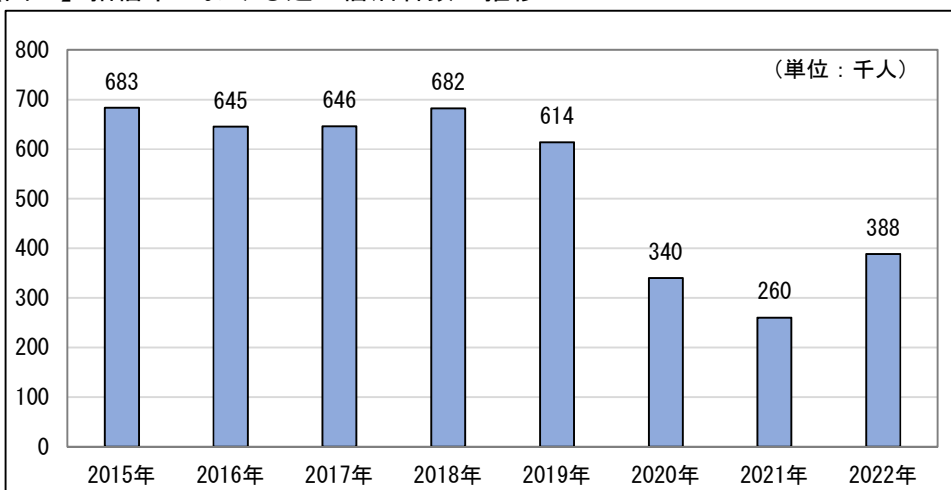


出典：南薩地域振興局総務企画課調べ

② 指宿市における宿泊者数

- 2022年の指宿市内の宿泊施設の延べ宿泊者数は、旅行需要喚起策が影響し、県外からの宿泊者が大幅に増加し、前年比49.4%増の388千人となった（図2）。
- 2022年の指宿市内の宿泊施設の発地別延べ宿泊者数は、県内が約90千人で全体の23.2%を占めて最も多く、次いで関東地区の約89千人（22.9%）、近畿地区の約64千人（16.4%）の順に多い（表1）。
- 2022年の指宿市内の宿泊施設の外国人延べ宿泊者数は、前年比1662%の1,629人であった（表2）。
増加要因は、新型コロナウイルス感染症の水際措置の緩和に伴い、10月以降に本格的な受け入れが再開したことによるものであり、今後も増加していくと思われる。

【図2】指宿市における延べ宿泊者数の推移



出典：指宿市「指宿市の観光統計」

【表1】指宿市における発地別延べ宿泊者数 (単位：人)

	2021年	割合 (%)	2022年	割合 (%)
関東	43,287	16.7 %	88,946	22.9 %
近畿	34,466	13.3 %	63,709	16.4 %
北九州	35,275	13.6 %	52,137	13.4 %
中部	15,445	6.0 %	30,403	7.8 %
南九州	19,345	7.5 %	30,285	7.8 %
中国	9,998	3.9 %	15,105	3.9 %
その他	7,948	3.1 %	15,583	4.0 %
県内	93,669	36.1 %	89,965	23.2 %
海外	98	0 %	1,629	0.4 %
計	259,531		387,762	

※ その他は、北海道、東北、北陸、四国、沖縄

出典：指宿市「指宿市の観光統計」

【表2】指宿市における外国人延べ宿泊者数 (単位：人)

	2021年	割合 (%)	2022年	割合 (%)
韓国	13	13.3 %	248	15.2 %
中国	24	24.5 %	241	14.8 %
シンガポール	0	.0 %	232	14.2 %
アメリカ	31	31.6 %	215	13.2 %
香港	2	2.0 %	205	12.6 %
台湾	2	2.0 %	191	11.7 %
タイ	1	1.1 %	51	1.1 %
その他	25	25.5 %	246	15.1 %
計	98		1,629	

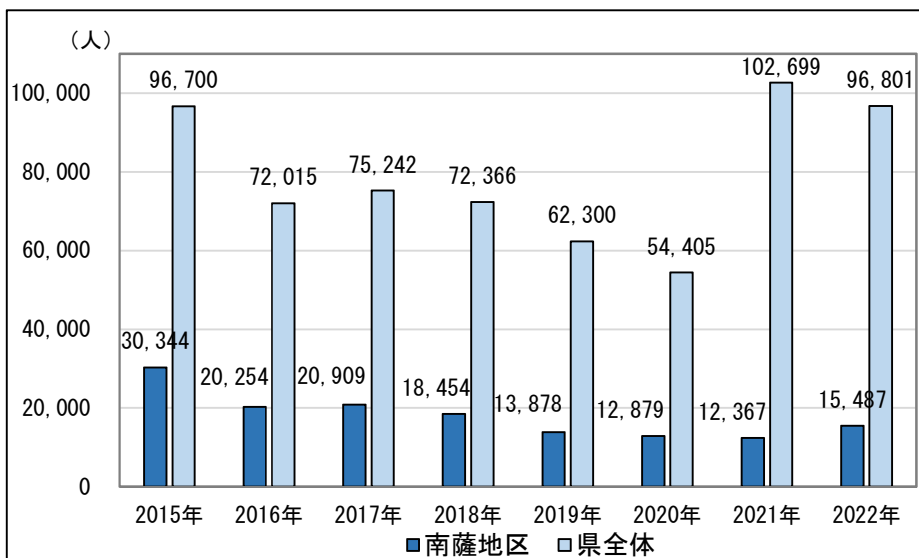
※ その他は、オーストラリア、マレーシア、カナダ、イギリス、ドイツ、ロシア、フランス、スイスなど

出典：指宿市「指宿市の観光統計」

(2) 教育旅行の受入状況

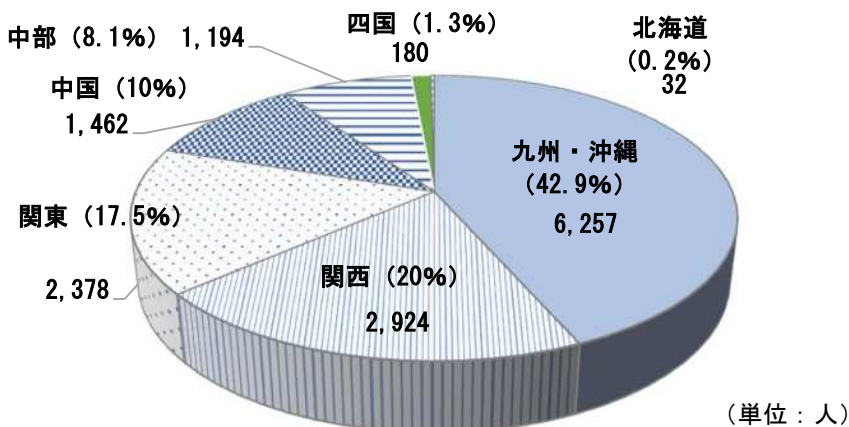
- ・ 修学旅行等の延宿泊者数は、2022年は県全体では前年比94.3%の96,801人と減少に転じた。南薩地区は、2017年以降減少傾向にあったが、2022年は前年比125.2%の15,487人と増加し、県全体に占める割合は約16%となっている（図3）。
- ・ 発地別では、九州地区が全体の約43%を占めて最も多く、次いで関西地区が20%、関東地区が17.5%となっている（図4）。
- ・ 県内から南薩地区への修学旅行等の延宿泊者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により近年増加傾向にあったが、2022年は県境をまたいでの旅行がコロナ禍前の水準に戻りつつある状況の中、修学旅行においても従来の行き先へ戻す学校が増えたことに伴い、前年比約41.5%の2,223人と大幅に減少した。

【図3】南薩地域の修学旅行等入込数



出典：県教育旅行受入対策協議会「鹿児島県修学旅行等入込状況調査」

【図4】南薩地域における発地別割合（2022年）



(単位：人)

出典：県教育旅行受入対策協議会「鹿児島県修学旅行等入込状況調査」

(3) スポーツキャンプ・合宿の受入状況

- ・ 2022年度の管内へのスポーツキャンプ・合宿の受入状況は、前年比約160%の延べ15,577人となった（県全体の約13%）（図5）。
- ・ 指宿市と南さつま市は、宿泊施設やスポーツ施設の設備が整っているため受入数が多い。なお、枕崎市、指宿市、南さつま市では合宿奨励金制度がある。
- ・ 構成別では高校が全体の約34%を占め、発地別では九州・沖縄が約37%と最も多

【図5】南薩地域におけるスポーツキャンプ・合宿の受入状況（単位：団体・人）

	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	団体数	延べ人数	団体数	延べ人数	団体数	延べ人数	団体数	延べ人数	団体数	延べ人数
枕崎市	2	155	2	3,404	0	0	0	0	7	2,481
指宿市	28	5,748	21	4,046	25	2,977	39	5,520	61	8,707
南さつま市	128	10,507	107	7,571	23	2,795	47	4,240	32	4,389
南九州市	35	1,296	1	224	0	0	0	0	0	0
管内計	193	17,706	131	15,245	48	5,772	86	9,760	100	15,577
県計	1,308	152,536	2,168	160,572	383	45,945	574	62,692	860	115,952

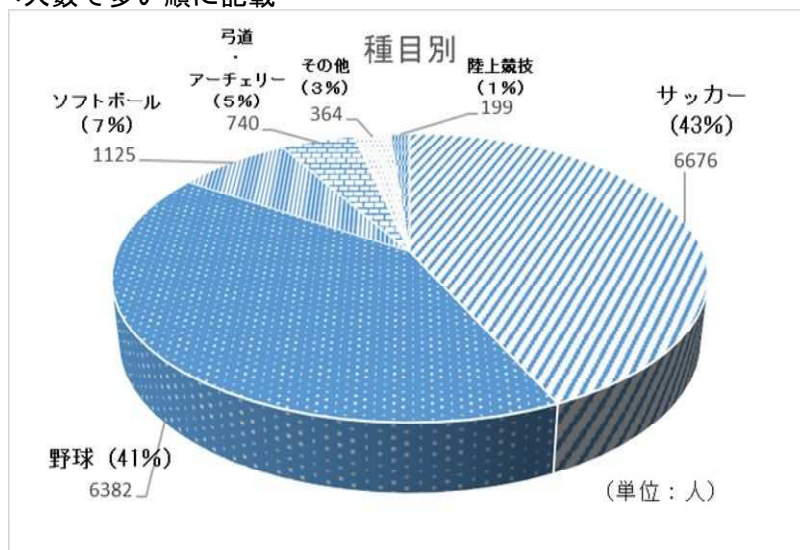
※ 2019年度の枕崎市の増加は、なぎなたの国体リハーサル大会によるもの

出典：県スポーツ振興課「鹿児島県スポーツキャンプ・合宿状況調査」

○ 管内での合宿の実施状況

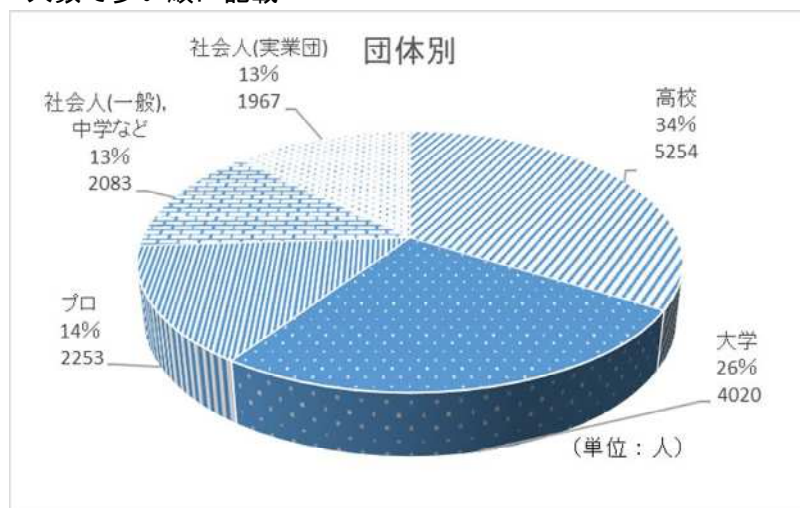
- 種目別 ①サッカー ②野球 ③ソフトボール ④弓道・アーチェリー
⑤陸上競技

※ 延べ人数で多い順に記載



- 団体別 ①高校 ②大学 ③プロ ④社会人（一般），中学など
⑤社会人（実業団）

※ 延べ人数で多い順に記載



○ プロスポーツキャンプ実績

【2022年】 ※全てサッカー

- ・ 柏レイソル（指宿市）
- ・ 湘南ベルマーレ（指宿市）
- ・ ロアッソ熊本（指宿市）
- ・ サンフレッチェ広島レジーナ（指宿市）
- ・ 鹿児島ユナイテッドFC（指宿市）

【2021年】 ※全てサッカー

- ・ 柏レイソル（指宿市）
- ・ 湘南ベルマーレ（指宿市）
- ・ テゲバジャーロ宮崎（指宿市）
- ・ サンフレッチェ広島レジーナ（指宿市）
- ・ いわてグルージャ盛岡（南さつま市）
- ・ 鹿児島ユナイテッドFC（指宿市）

(4) 主な観光スポット・イベント

	観光スポット	イベント
枕崎市	火之神公園（立神岩） 枕崎お魚センター 南薩地域地場産業振興センター 枕崎市かつお公社 明治蔵 枕崎駅前 枕崎市文化資料センター南浜館 枕崎なぎさ温泉	火の神太鼓初打ち（1月） 新春かつおジョギング大会（1月） まくらざき春の市（3月） こどもの日かつおまつり（5月） 黒潮すもう大会（6月） 枕崎よさこい祭り（7月） 「きばらん海」枕崎港まつり（8月） 新酒祭り（10月末） 枕崎市総合文化祭市民芸能祭（11月） まくらざき朝市（毎月第3日曜）
指宿市	枚聞神社 時遊館COCCOはしむれ 薩摩伝承館 砂むし会館「砂楽」 砂むし温泉「砂湯里」 ヘルシーランドたまたま箱温泉 レジャーセンターかいもん 池田湖 えぷろんはうす池田 鰻池（区営鰻温泉） 知林ヶ島（ちりりんロード） 長崎鼻 フラワーパークかごしま 西大山駅 道の駅山川港活お街道 唐船峡そうめん流し 道の駅いぶすき彩花菜館 IKEDAKO PAX	いぶすき菜の花マラソン（1月） いぶすき菜の花マーチ（1月） 春の九州オルレフェア指宿・開間コース（2月） 九州オールドカーフェスタin指宿かいもん（4月） アロハ健康ウォーク&アロハ宣言（4月） いぶすきフラフェスティバル（6月） 山川みなと祭り（6月） かいもん夏祭り（8月） 指宿温泉祭（9月） 枚聞神社ほぜ祭（10月） ウィンターフェスティバル フラワーパーク イルミネーション（12月） いぶすき産業祭り（12月） イブの夜にすき焼き（12月） 山川ふるさと歳の市（12月）
南さつま市	万世特攻平和祈念館 焼酎づくり伝承展示館「杜氏の里笠沙」 笠沙美術館（黒瀬展望ミュージアム） 竹田神社 南さつま海道八景 吹上浜海浜公園 南薩少年自然の家 かせだドーム かせだ物流センターるびなす 道の駅きんぼう木花館 温泉交流の郷いなほ館 大浦ふるさとくじら館 くじらの眠る丘 鑑真記念館 坊津歴史資料センター輝津館 南さつま交流センターいななまる マルス津貫蒸溜所 焼酎の郷宮原ふれあい館（たかやのやかた）	南さつま海道鑑真の道歩き（2月） 杜氏の里まつり（2月） デュアスロンIN南さつま（3月） 吹上浜砂の祭典（5月） 唐カラ船祭り（5月） 竹田神社夏祭り・土踊（7月） 坊津・岬まつり（8月） ヨッカブイ（8月） 金峰ふるさと夏祭り（8月） 南さつまフェスタふるさと総踊り（9月） 大浦まつり（10月） ツール・ド・南さつま（10月） マリンランド笠沙フェスタ（10月） 健幸ふれ愛フェスタ（11月） 津貫蒸溜所祭り（11月）
南九州市	番所鼻自然公園 タツノオトシゴハウス 射盾兵主神社（釜蓋神社） 大野岳公園 知覧特攻平和会館 知覧武家屋敷庭園 ミュージアム知覧 岩屋公園 道の駅川辺やすらぎの郷 アドベンチャーパーク森のかわなべ	川辺二日市（2月） ちらんまち二日市（2月） 新茶・大野岳マラソンinえい（4月） ばんどころ絶景祭り（5月） 知覧ねぶた祭（7月） 豊玉姫神社の水車からくり（7月） 川辺祇園祭（7月） えいのゴッソイまつり（8月） 小京都ふるさと祭（10月） かわなべ磨崖仏まつり（11月） 南九州市あかりの道標ちらん灯彩路（11月）

※例年ベースで記載

6 保健医療福祉

(1) 人口動態 (2021年1月1日～12月31日)

(単位：人)

	出生数	死亡数	自然増加	死 因 別					
				悪性新生物	心疾患	肺炎	脳血管疾患	老衰	その他
枕崎市	99	360	▲261	95	47	34	43	27	114
指宿市	237	602	▲365	139	98	32	64	49	220
南さつま市	188	633	▲445	142	92	57	63	79	200
南九州市	176	588	▲412	139	84	49	59	58	199
管内計	700	2,183	▲1,483	515	321	172	229	213	733
前年度計	685	2,200	▲1,515	561	348	147	194	209	741
増減	15	▲17	32	▲46	▲27	25	35	4	▲8

出典：県保健医療福祉課「2021年鹿児島県人口動態調査統計表」

(2) 医師数・医療提供施設等の状況

(単位：箇所、人)

	管内の医療施設で診療に従事している医師		薬剤師		医 療 施 設 等										診療に従事している医師1人当たり人口	
					病院		診療所		薬局	助産所	あま指んサーま	はり	きゆう	柔道整		
					数	病床	数	病床								
枕崎市	53	14	13	20	8	653	24 (9)	32 (0)	9	0	17	24	24	7	363	1,374
指宿市	107	27	22	41	9	1,196	58 (20)	178 (0)	22	1	44	50	48	19	355	1,409
南さつま市	73	17	17	49	7	896	48 (13)	178 (0)	24	0	33	37	36	9	441	1,893
南九州市	59	21	11	33	6	748	44 (16)	72 (0)	16	1	32	47	47	12	542	1,524
管内計	292	79	63	143	30	3,493	174 (58)	460 (0)	71	2	126	158	155	47	—	—

出典：厚生労働省「2020年医師・歯科医師・薬剤師統計」、南薩地域振興局衛生・環境課、地域保健福祉課調べ

※1 診療所の()書きは歯科診療所数で内書き

※2 医療施設等は2023年3月末現在

※3 医師・歯科医師・薬剤師は2020年12月31日現在の医師・歯科医師・薬剤師調査による。

※4 診療に従事している医師1人当たり人口は、2021年10月1日現在の人口による。

(3) 生活習慣病死亡率【人口10万対】

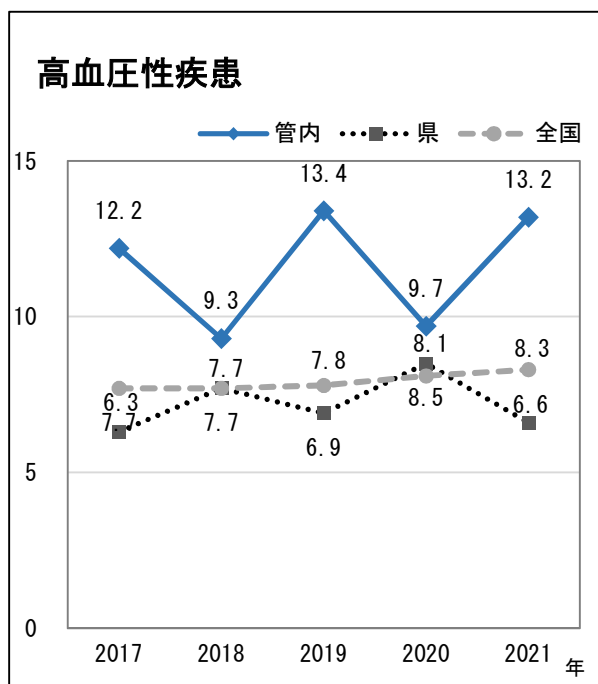
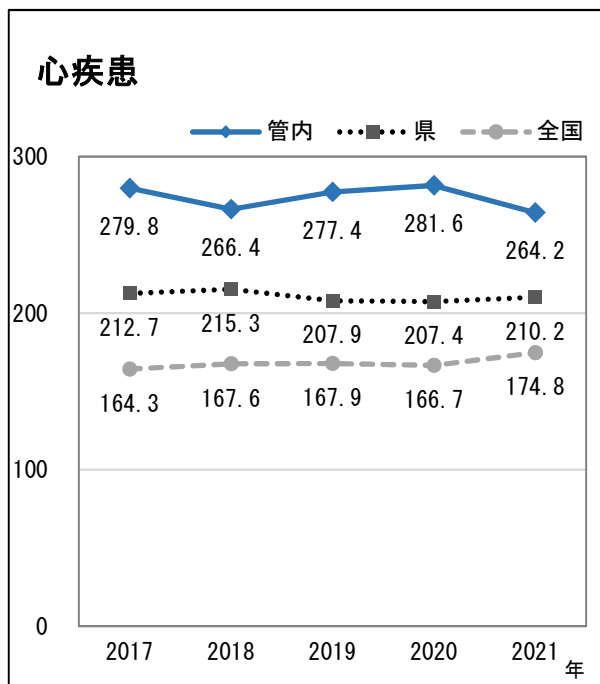
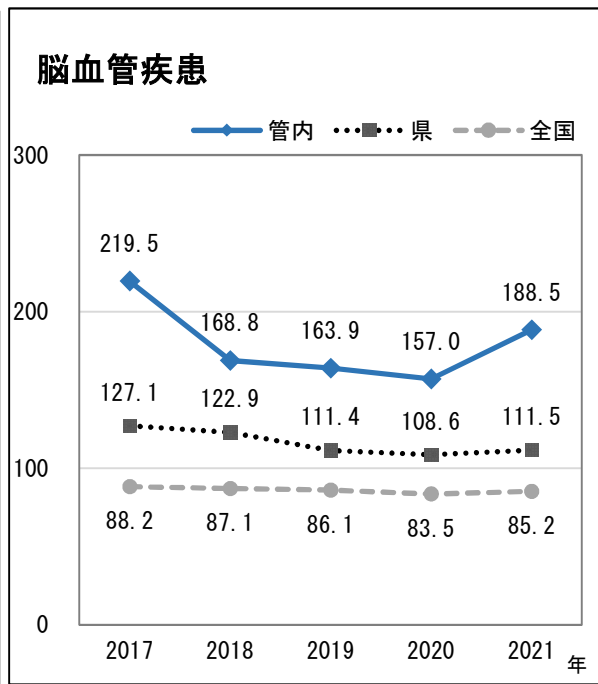
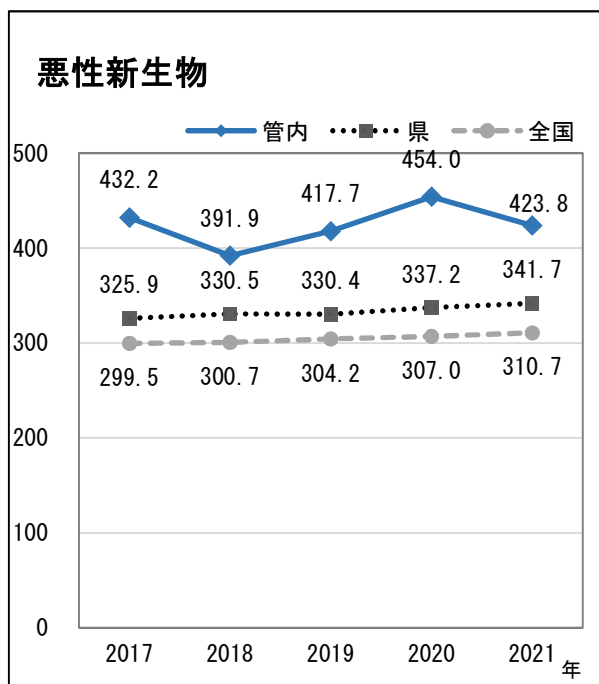
- 管内の生活習慣病（主要4疾病）の死亡率は、県・全国より高い。特に脳血管疾患の死亡率は県平均の約1.7倍、全国平均の約2.2倍と高い水準にある。

(各年1月1日～12月31日)

年	悪性新生物			脳血管疾患			心疾患			高血圧性疾患		
	管内	県	全国	管内	県	全国	管内	県	全国	管内	県	全国
2017	432.2	325.9	299.5	219.5	127.1	88.2	279.8	212.7	164.3	12.2	6.3	7.7
2018	391.9	330.5	300.7	168.8	122.9	87.1	266.4	215.3	167.6	9.3	7.7	7.7
2019	417.7	330.4	304.2	163.9	111.4	86.1	277.4	207.9	167.9	13.4	6.9	7.8
2020	454.0	337.2	307.0	157.0	108.6	83.5	281.6	207.4	166.7	9.7	8.5	8.1
2021	423.8	341.7	310.7	188.5	111.5	85.2	264.2	210.2	174.8	13.2	6.6	8.3

出典：県保健医療福祉課「鹿児島県人口動態調査統計表」

○ 管内・県・全国の死亡率の年次推移（人口10万対）



(4) 福祉施設の設置状況 (2023年3月末)

(単位：箇所、人)

施設の種類	施設数	入所(通所)定員
生活保護法		
救護施設		
更生施設		
医療保護施設		
授産施設		
宿所提供施設		
小計	0	0
児童福祉法		
助産施設		
乳児院		
母子生活支援施設		
保育所(認定こども園除く)	34	1,964
児童厚生施設	7	
児童養護施設	1	46
障害児入所施設	1	10
児童発達支援センター	4	60
児童心理治療施設		
児童自立支援施設		
児童家庭支援センター	1	
小計	48	2,080
就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律		
認定こども園	23	1,774
小計	23	1,774
老人福祉法		
老人デイサービスセンター	62	
老人短期入所施設	22	241
養護老人ホーム	4	290
特別養護老人ホーム	27	1,322
軽費老人ホーム	3	100
老人福祉センター	9	
老人介護支援センター	5	
小計	132	1,953
障害者総合支援法		
障害者支援施設	10	601
小計	10	601
介護保険法		
介護老人福祉施設	(18)	(1,098)
介護老人保健施設	11	848
介護療養型医療施設	0	0
介護医療院	4	176
小計	15	1,024
合計	228	7,432

出典：南薩地域振興局地域保健福祉課調べ

※ () 書きは、特別養護老人ホームを重複するため、内書き

(5) 温泉利用状況 (源泉数, 温泉利用の公衆浴場施設数) (2022年3月末)

(単位：本、箇所)

	温泉地数	源泉総数	温泉利用の公衆浴場施設	(参考)温泉利用の旅館・ホテル数
枕崎市	1	5	2	
指宿市	9	539	36	33
南さつま市	3	7	4	1
南九州市	3	19	12	1
管内計	16	570	54	35
県計	160	2,065		
割合	10.0%	27.6%		

出典：南薩地域振興局衛生・環境課調べ

【参考】県立薩南病院の概要

1 機能概要

(1) 診療科

内科，消化器内科，循環器内科，外科，放射線科，小児科，産婦人科，麻酔科，特殊外来（糖尿病外来，肝臓病外来，ペースメーカー外来，緩和ケア外来，緩和ケア外来（精神腫瘍医），乳腺外来，呼吸器外科外来）

※ R5年5月移転に伴い，産婦人科と麻酔科を新設，小児科を再開。

(2) 病床数

160床（一般病床：146床，感染症病床：4床，結核病床：10床）

(3) 各種指定状況

地域医療支援病院，災害拠点病院，結核予防指定医療機関，感染症指定医療機関，原子爆弾被災者医療指定病院，救急指定医療機関，更生医療指定病院，労災保険指定病院，生活保護指定病院，へき地医療拠点病院，エイズ治療協力病院，地域がん診療連携拠点病院

(4) 学会認定状況

臨床研修指定病院，日本がん治療認定医機構認定研修施設，日本循環器学会認定専門医研修施設，日本外科学会外科専門医制度修練施設，日本胸部外科学会認定医認定制度指定関連施設，日本消化器外科学会専門医修練施設

(5) 医療機器

コンピュータ断層撮影装置(CT)，デジタルガンマカメラ，心・血管撮影装置(アンギオ)，リニアック(放射線治療装置)，X線シュミレータ，三次元放射線治療計画ワークステーション，乳房エックス線撮影装置

2 施設概要

(1) 所在地

南さつま市加世田村原4丁目11番

(2) 敷地面積

19,554㎡

(3) 建物面積

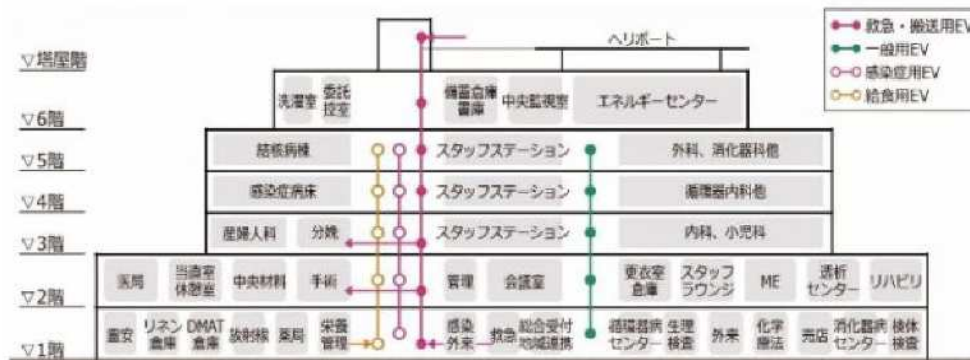
14,976㎡

(4) 階数

地上6階＋塔屋1階

(5) その他

屋上ヘリポート，駐車場，院内保育所，駐輪場



7 管内の公共土木施設の概要

(1) 道路

- ・ 国・県道のうち、一般国道は、5路線185.4km(国土交通省管理：2路線41.8km, 県管理：4路線143.6km), 県道は、主要地方道が10路線145.2km, 一般県道が27路線194.3kmの計37路線339.5kmで、国県道合わせて42路線524.9km(うち県管理：41路線483.1km)である。
- ・ 県管理道路の整備状況は、2022年4月1日現在で改良率92.0%, 舗装率100.0%となっている。

【図1】管内の道路整備状況(2022年4月1日現在)

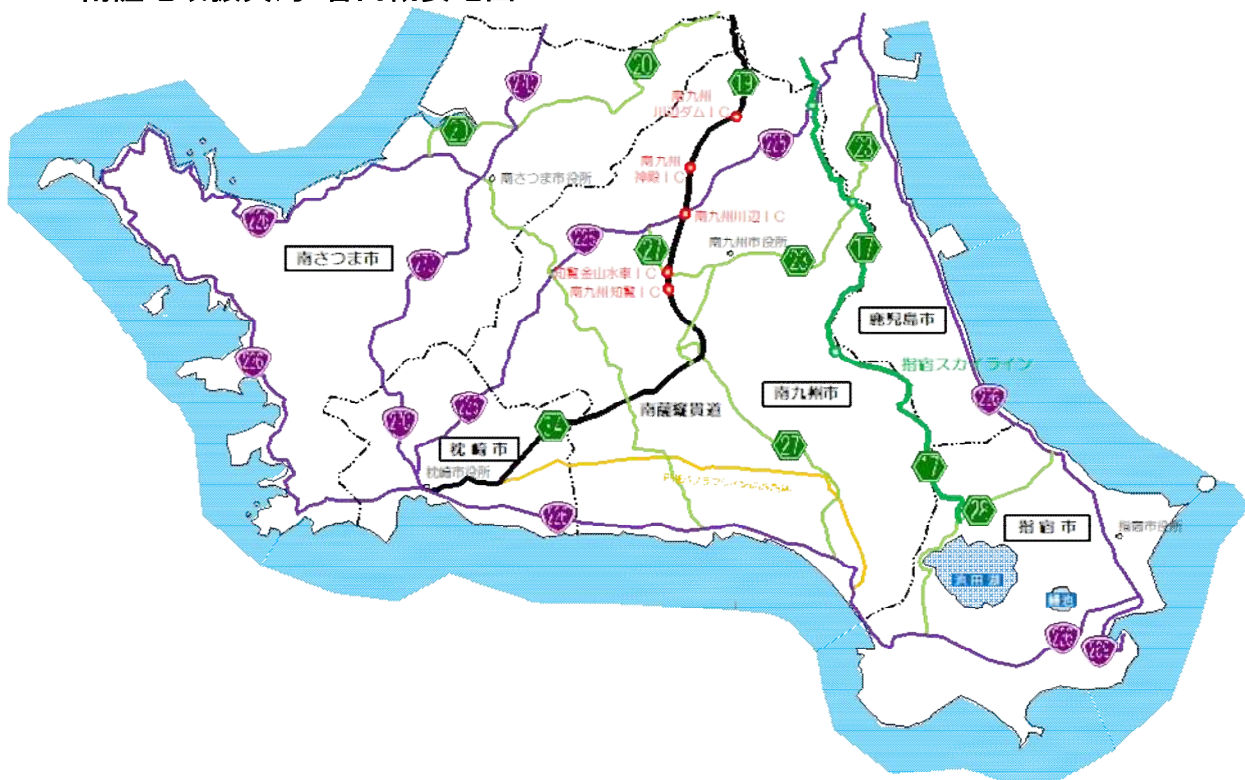
道路の種類		路線数	延長 (km)	改良済			舗装済		
				延長 (km)	改良率 (%)	県全体改良率 (%)	延長 (km)	舗装率 (%)	県全体舗装率 (%)
一般国道	国管理	2	41.8	41.8	100.0	100.0	41.8	100.0	100.0
	県管理	4	143.6	138.8	96.6	98.7	143.6	100.0	100.0
	国道計	5	185.4	180.6	97.4	99.1	185.4	100.0	100.0
県道	主要地方道	10	145.2	140.7	96.9	91.8	145.2	100.0	100.0
	一般県道	27	194.3	165.0	84.9	76.0	194.3	100.0	100.0
	県道計	37	339.5	305.7	90.0	83.0	339.5	100.0	100.0
国・県道計		42	524.9	486.3	92.6	87.3	524.9	100.0	100.0
うち県管理		41	483.1	444.5	92.0	86.1	483.1	100.0	100.0

※1 「国・県道計」及び「うち県管理」は、端数処理の関係で一致しない。

※2 管内の国道5路線のうち、国管理は国道225号・国道226号の2路線、県管理は国道226号、国道269号、国道270号、国道448号の4路線と、国道226号は、国管理区間と県管理区間があり、重複している。

出典：県道路維持課「2022年度道路現況調査」

南薩地域振興局 管内概要地図



(2) 河川

- 県で管理する河川は、二級河川万之瀬川等20水系54河川あり、流路延長は277.1kmで、2023年4月1日現在の改修率は42.9%（県全体46.6%）である。

【図2】管内の県管理河川の整備状況（延長10km超）（2023年4月1日現在）

河川種別	水系河川	河川数	管理延長 (km)	要改修 (km)	改修済 (km)	改修率 (%)	未改修 (km)	改修不要 (km)
二級	万之瀬川	23	150.90	122.30	50.70	41.5	71.60	28.60
	大浦川	6	16.60	15.00	8.30	55.3	6.70	1.60
	花渡川	3	16.90	16.10	10.20	63.4	5.90	0.80
	加治佐川	2	13.70	12.70	1.60	12.6	11.10	1.00
	馬渡川	2	13.60	10.20	2.40	23.5	7.80	3.40
	新川	3	18.50	18.00	4.80	26.7	13.20	0.50

※1 改修、未改修及び改修不用延長は、兩岸の平均。

※2 改修済とは、60mm/h相当の降雨で、はん濫しないよう河道が確保されているもの。

出典：南薩地域振興局河川港湾課調べ

(3) 土石流、急傾斜地及び地すべり

- 土砂災害から県民の安全な暮らしを確保し、人命や財産の保護に向けた土砂災害防止のため、砂防えん堤等のハード対策が必要な土石流危険渓流が255渓流あり、84渓流で砂防施設が概成している。
- 急傾斜地崩壊危険箇所は451箇所あり、うち対策を要する箇所が294箇所、このうち142地区で斜面对策工事が概成している。
- 地すべり危険箇所は22箇所あり、うち8地区で対策工事が概成している。土砂災害に対する全体の整備率は41.0%である。

【図3】管内の危険渓流・箇所の整備状況（2023年4月1日現在）

	土石流危険渓流 (渓流)	急傾斜地崩壊危険箇所 (箇所)	地すべり危険箇所 (箇所)	合計
危険渓流・箇所	255	451	22	728
うち要施工 (a)	255	294	22	571
2022年迄の概成数 (b)	84	142	8	234
整備率 (b)/(a) %	32.9 %	48.3 %	36.4 %	41.0 %

出典：南薩地域振興局河川港湾課調べ

【図4】管内の土砂災害警戒区域の指定状況（2024年1月5日現在）

	警戒区域				うち特別警戒区域
	急傾斜地の崩壊	土石流	地すべり	計	
枕崎市	233	18	1	252	233
指宿市	228	111	6	345	310
南さつま市	694	211	14	919	723
南九州市	398	156	0	554	458
計	1,553	496	21	2,070	1,724

出典：南薩地域振興局河川港湾課調べ

(4) 海岸

① 海岸保全区域

河川局所管	… 塩屋海岸等	13地区	延長	20.7 km
港湾局所管	… 宮ヶ浜港海岸等	3地区	延長	7.2 km
水産庁所管	… 枕崎漁港海岸等	11地区	延長	28.3 km
農村振興局所管	… 大浦海岸等	5地区	延長	13.0 km
		計	32地区	延長 69.2 km

(5) 港湾・漁港

① 県管理港湾（4港）

- ・ 地方港湾 指宿港，宮ヶ浜港，魚見港，新川港

② 県管理漁港（12港）

- ・ 特定第3種漁港 … 枕崎漁港
- ・ 第3種漁港 … 山川漁港
- ・ 第4種漁港 … 坊泊漁港，宇治漁港
- ・ 第2種漁港 … 片浦漁港，野間池漁港，小湊漁港，久志漁港，秋目漁港，
 穎娃漁港，今和泉漁港，川尻漁港

※ 特定第3種漁港 … 第3種漁港のうち，水産業の振興上特に重要な漁港で政令で定めるもので，全国に13港（八戸，気仙沼，石巻，塩釜，銚子，三崎，焼津，境，浜田，下関，博多，長崎，**枕崎**）ある。

(6) 県営住宅

管内県営住宅一覧（2024年4月1日現在）

所在地	団地名	戸数
指宿市 (5団地)	弥次ヶ湯団地	40
	西方団地	32
	宮ヶ浜団地	98
	大園原団地	72
	新田ふれあい団地	30
	小計	272
枕崎市 (1団地)	枕崎団地	42
	小計	42
南さつま市 (8団地)	武田団地	28
	唐仁原団地	71
	万世団地	37
	内山田団地	68
	小松原団地	46
	ハーモニー団地	75
	ウッドタウン笠沙団地	18
	ガーデンヒルズ金峰団地	19
小計	362	
南九州市 (3団地)	ウッドタウン知覧団地	45
	打越団地	48
	ウッドタウンえい団地	14
	小計	107
(17団地)	合計	783

8 教育・文化

(1) 教育

① 小中学校の状況（2023年度）

	小学校数	児童数	中学校数	生徒数
枕崎市	4	812	4	463
指宿市	9 (2)	1,836	5	964
南さつま市	9 (5)	1,157	3	560
南九州市	16 (9)	1,472	3	783
管内計	38 (16)	5,277	15	2,770

※ () は複式学級が設けられている学校数

出典：県教育庁総務福利課「令和5年度鹿児島県の教育行政」

② 義務教育学校の状況（2023年度）

	学校数	児童・生徒数
南さつま市	2	533

出典：県教育庁総務福利課「令和5年度鹿児島県の教育行政」

③ 高等学校の状況（2023年度）

高等学校名	公私	所在地	学 科 等
指 宿	県立	指 宿 市	普通
山 川	県立	指 宿 市	園芸工学・農業経済, 生活情報
穎 娃	県立	南九州市	普通, 機械電気
枕 崎	県立	枕 崎 市	総合
鹿児島水産	県立	枕 崎 市	海洋, 情報通信, 食品工学 ※専攻科
加 世 田	県立	南さつま市	普通
加世田常潤	県立	南さつま市	食農プロデュース, 生活福祉
川 辺	県立	南九州市	普通
薩南工業	県立	南九州市	機械, 建築, 情報技術, 生活科学
指宿商業	市立	指 宿 市	商業マネジメント, 会計マネジメント, 情報マネジメント
鳳 凰	私立	南さつま市	普通, メディカルシステム, 総合福祉, 看護 ※看護専攻

出典：南薩地域振興局総務企画課調べ

④ 特別支援学校の状況（2023年度）

学 校 名	公私	所 在 地
指 宿 養 護	県立	指 宿 市
南 薩 養 護	県立	南さつま市

出典：県教育庁総務福利課「令和5年度鹿児島県の教育行政」

(2) 文化

① 伝統的工芸品

名 称	産 地	指定
川辺仏壇	南九州市川辺町	国
加世田鎌・加世田包丁	南さつま市加世田	県
薩摩切子	南さつま市金峰町	県
薩摩つげ櫛	指宿市	県
薩摩深水刃物	枕崎市	県
坊津ガラガラ船・唐カラ船	南さつま市坊津町	県

② 管内の指定文化財の状況 次ページ一覧表のとおり

南薩地区の国及び県指定文化財一覧表

2023年4月1日現在

市名	指定区分	名称	所在地	指定年月日
板橋市(1)	国指定無形民俗文化財	南薩摩の十五夜行事	枕崎市(枕崎市十五夜行事保存会)	S56. 1. 21
	国指定有形文化財(工芸品)	松梅蔦絵巻等附属品並目録共 一合	開聞町十町1366 枚間神社	S 2. 4. 25
	国指定史跡	指宿榎牟礼川遺跡	十二町(下里)	T13. 12. 9
	"	鹿野島津家墓所	指宿市岩本字麓	R 2. 3. 10
	国指定特別天然記念物	鹿野島原のソテツ自生地	山川町 他	S27. 3. 29
	国登録有形文化財	宮ヶ浜港防波堤(捍海堤)	西方宮ヶ浜地先	H20. 4. 18
	"	丸十金物百貨店店舗 (宮ヶ浜の商家群)	西方4826	H20. 10. 23
	"	丸十金物百貨店蔵 (")	西方4826	H20. 10. 23
	"	中俣家住宅主屋 (")	西方字宮ヶ浜中4674	H20. 10. 23
	"	坂本家住宅主屋 (")	西方4681	H20. 10. 23
	"	鹿川菓子店店舗主屋 (")	西方字飯屋ノ下4682	H20. 10. 23
	県指定有形文化財(建造物)	枚間神社本殿	開聞町十町1366	H 2. 3. 23
	" (彫刻)	指宿光明神寺の木造阿彌陀如来立像	十町2768	H15. 4. 22
	" (彫刻)	久保観音堂の木造菩薩立像	指宿市西方8161-1	H30. 4. 20
	" (工芸品)	能面	東方733 (指宿神社)	S34. 6. 10
	県指定天然記念物・史跡	山川薬園跡及びリュウガン	山川町新左町35	S29. 3. 15
	県指定天然記念物	縄文玄武岩	開聞町福浦花瀬崎	S29. 5. 24
	"	指宿神社の社叢(しいもろ)	東方733 (指宿神社境内)	H15. 4. 22
	"	伏見海岸の池田火砕流堆積物と噴気帯	山川福元3339-2の一部及び海岸(長さ210m)	H26. 4. 22
"	知林ヶ島のトンボロ	指宿市	R 2. 4. 28	
南さつま市(47)	国指定有形文化財(絵画)	箱本著色八相淨瑠璃図	坊津町坊9474-1「舞津館」	S47. 5. 30
	国指定史跡	袴ノ原遺跡	加世田村原字袴ノ原	H 9. 3. 11
	"	阿多貝塚	南さつま市金峰町宮崎	R 2. 3. 24
	国指定特別天然記念物	鹿野島原のソテツ自生地	坊津町秋目本路山 他	S27. 3. 29
	国指定天然記念物	へご自生北限地帯	笠沙町赤生木	T15. 10. 27
	"	万之瀬川河口域のハマボウ群落及び干潟生物群集	加世田山字川原田, 上川原田, 吉田, 千寄地	H19. 2. 6
	"	カラスバト	宇治群岛, 草垣群岛(地域を定めず指定)	S46. 5. 19
	国指定名勝	坊津	坊津町大字坊字御崎	H13. 1. 29
	国指定無形民俗文化財	南薩摩の十五夜行事	坊津町	S56. 1. 21
	国選定伝統的建造物群保存地区	南さつま市加世田藩伝統的建造物群保存地区	南さつま市	R 1. 12. 23
	国選定無形民俗文化財	薩摩の水からくり (加世田の水カラクリ)	加世田武田17932	S59. 12. 20
	国選定無形民俗文化財	ヨッカパイ	金峰町高橋	H 9. 12. 4
	"	大浦町の癒癒踊	大浦町宮園及び永田	S53. 1. 31
	国登録有形文化財	丁子屋石蔵 一棟	加世田唐仁原	H19. 7. 31
	"	大崎公民館(旧大崎報公議會館)本館	加世田唐仁原6078 2 他	H20. 4. 18
	"	大崎公民館(旧大崎報公議會館)門及び石塀	"	H20. 4. 18
	"	旧磐坂医院	加世田武田18278	H21. 8. 7
	"	絞島家住宅主屋や石塀など7件	加世田武田宇下上鴻巣18275	H23. 7. 25
	"	絞島博家住宅主屋や蔵など4件	加世田武田17824	H24. 8. 13
	"	旧磐坂家住宅主屋や蔵など4件	加世田武田宇下鴻巣17830-1	H25. 6. 21
"	岩元家住宅主屋	坊津町秋目794	R 3. 2. 26	
県指定有形文化財(考古資料)	経筒	加世田武田17932 竹田神社	S42. 3. 31	
" (絵画)	杉戸	坊津町坊9474-1「舞津館」	S29. 5. 24	
" (工芸品)	扇類	"	S29. 5. 24	
" (古文書)	坊津一乗院聖教類等	"	H 2. 3. 23	
" (彫刻)	廣泉寺の木造阿彌陀如来立像附紙本納入品	坊津町久志6552	R 2. 4. 28	
県指定史跡	六地藏塔	加世田武田17924-3	S29. 5. 24	
"	一乗院跡	坊津町坊	S29. 5. 24	
県指定天然記念物	マノセカワゴケソウ	加世田古瀬(万之瀬川)	S29. 3. 15	
"	ミシマサワガニ	黒島, 口永良部島, 宇治群岛	H25. 4. 23	
県指定有形民俗文化財	加世田の水車カラクリ	加世田武田17932 竹田神社	S61. 3. 24	
"	金峰町宮崎の田の神	金峰町宮崎の上50	S41. 3. 11	
県指定無形民俗文化財	土踊(権児踊・二才踊)	加世田武田17932(竹田神社土踊保存会)	S36. 12. 20	
"	津貫帯祭太鼓踊	加世田津貫(津貫帯祭太鼓踊保存会)	S39. 6. 5	
"	大浦町の癒癒踊	大浦町(癒癒踊保存会)	S37. 10. 24	
南九州(34)	国指定史跡	知覧城跡	知覧町永里 他	H 5. 5. 7
	国指定名勝	知覧薩摩園	知覧町郡	S56. 2. 23
	国指定無形民俗文化財	南薩摩の十五夜行事	知覧町(知覧町十五夜行事保存会)	S56. 1. 21
	国選定重要伝統的建造物群保存地区	知覧町知覧伝統的建造物群保存地区	知覧町郡	S56. 11. 30
	国選定無形民俗文化財	薩摩の水からくり (知覧の水カラクリ)	知覧町郡16510(知覧水車カラクリ保存会)	S59. 12. 20
	国登録有形文化財	旧陸軍知覧飛行場防火水塔 一基	知覧町郡17932	H19. 7. 31
	"	旧陸軍知覧飛行場薬庫 一棟	知覧町郡17877	H19. 7. 31
	"	旧陸軍知覧飛行場着陸訓練施設鉄礎 一棟	知覧町郡17885-3	H19. 7. 31
	"	横峯家住宅主屋	知覧町永里1226	H19. 7. 31
	"	旧勝目郵便局	川辺町中山田1134 3	H19. 5. 15
	"	安田家住宅主屋一棟土蔵一土蔵二住宅門及び石垣(4)	知覧町南別府宇下村25820	H19. 12. 5
	"	下家住宅主屋土蔵石垣(3)	知覧町南別府宇下村27024	H19. 12. 5
	"	吉田家住宅土蔵	知覧町南別府宇下ノ上23295	H19. 12. 5
	県指定有形文化財(建造物)	森重堅氏住宅オモテ 附 蔵	知覧町郡6354	H20. 4. 22
	"	佐多直忠氏住宅 附 腕木門 目隠し(屏風岩)	知覧町郡6109	H20. 4. 22
	県指定有形文化財(絵画)	門之浦伝業絵巻	知覧町郡17880(ミュージアム知覧)	R 3. 4. 23
	県指定史跡	摩地松山製鉄遺跡	知覧町大字厚地字伊場, 宇河口及び宇宮尾平	H14. 4. 23
"	清水藤庄伝	川辺町清水薬師	S34. 6. 10	
"	額娃城跡	額娃町郡	H17. 4. 19	
"	金山水車(森製錬所)跡	知覧町郡宇森	H29. 4. 21	
県指定天然記念物	天然橋	川辺町上山田柿房虚空蔵岳	S29. 5. 24	
"	権現洞穴	川辺町上山田若野	S29. 5. 24	
"	川辺の大クス	川辺町宮4773	S31. 9. 27	
"	トキワカワゴケソウ(カワゴケソウ科)	額娃町平瀬(馬渡川)	S29. 3. 15	
" (植物)	南九州市川辺町中山田のオキチモズク	川辺町中山田藤川用水路(1-20, 104, 105, 106, 107, 108, 109, 110, 111, 112, 113, 114, 115, 116, 117, 118, 119, 120)	H30. 4. 20	
県指定名勝及び天然記念物	番所島の溶結凝灰岩の環状ブルー群	南九州市額娃町番所島	H31. 4. 19	
県指定有形民俗文化財	知覧の水車カラクリ	知覧町郡16510(知覧水車カラクリ保存会)	S58. 4. 13	
県指定無形民俗文化財	知覧の十五夜そらよい	知覧町中部地区(中福良, 追, 瀬戸山, 瀬世, 柳山, 浮辺, 加治屋)	S55. 3. 31	
"	川辺町上山田太鼓頭	川辺町上山田(上山田太鼓頭保存会)	S36. 12. 20	

出典：南薩教育事務所「令和5年度南薩地区教育行政要覧」

9 市町村勢

(1) 財政状況 (2022年度)

(単位：百万円，%)

市名	区分	歳入総額	歳出総額	積立金 現在高	地方債 現在高	市町村別主要指数			
						財政力 指数	実質公債 費比率	経常収支 比率	将来負担 比率
枕崎市		15,820	15,028	6,947	11,357	0.41	7.9	87.9	—
指宿市		28,124	26,673	7,572	31,539	0.36	9.2	92.9	32.3
南さつま市		33,059	31,932	24,793	28,732	0.29	7.3	91.3	—
南九州市		26,122	25,270	12,344	18,389	0.35	6.9	89.7	—
管内市平均						0.35	7.8	90.5	—
県平均						0.29	7.1	90.5	—

※ 指宿市以外の各市の将来負担比率が算定されていないのは、一般会計が将来的に負担すべき実質的な負債（将来負担額）に対し、負債の償還に充てることのできる基金等が多いため、算定されず数値なしとなったもの。

出典：「将来負担比率」は、県市町村課「2022年度決算に基づく健全化判断比率等の概要」
「将来負担比率」以外は、県市町村課「2022年度市町村普通会計決算の概要」

(2) 合併状況

現在(合併後)	合併前	合併年月日
指宿市	指宿市	2006年1月1日
	山川町	
	開聞町	
南さつま市	加世田市	2005年11月7日
	大浦町	
	笠沙町	
	坊津町	
南九州市	金峰町	2007年12月1日
	知覧町	
	川辺町	
枕崎市	顚娃町	—